臺灣日日新報 第一萬四千三百二十五號 A (一)
昭和十五年七月三十一日 (水曜日) (明治卅一年五月九日第三種郵便物認可) (第二版)

臺灣新民報 夕刊

一日二十日
夕刊定価一部一錢
編輯兼發行人 佐々木 舜
發行所 臺北市表町二丁目廿二番地 新民報社
基隆市港町一丁目一番地 基隆支局
臺中市寿町一丁目一〇七番地 臺中支局
臺南市錦町一丁目一〇〇番地 臺南支局
花蓮港街入船町 花蓮港支局
大阪市西區阿波座堀通一丁目 大阪支局
(ニタカビルディング内)
東京市芝區櫻田本郷町四 東京支局
電話 玉 ㊤

回答内容の發表延期

日本の國民的感情刺戟を避く

イギリス官邊言明

【ロンドン二十九日發同盟】日本政府は淺間丸事件に關し數日中に再折衝を提出する筈であるといふ日本外務當スポークスマンの談話は英當局の期待を裏切つた觀があるが、英官邊では依然友好解決の希望を捨てず、日本の國民的感情刺戟を避けるため二十日有田クレーギー會談の進行狀態に關係なく英國回答内容の發表を延期することに決定した

【ロンドン二十九日發同盟】淺間丸事件に關し英國回答の發表を延期した、與右に關してタイムス紙外交記者は二十九日の紙上で日英交渉の即速必ずしも樂觀すべきものならずと次の如く述べて居り、これは英官邊の考へ方を代表せるものと見られてゐる

一、二十九日發同盟】淺間丸事件の解決如何は今後中支國に執り新秩序を開くとの見地からイタリー政府は成行を重視してゐるが

二十九日附メツサゼロ紙のロンドン特電は英國の對日回答の不徹底を指摘し、更に折角好轉し來つた日英關係が淺間丸事件の行詰りから

ロンドン特電は英國の對日回答の不徹底を指摘し、更に折角好轉し來つた日英關係が淺間丸事件の行詰りから

伊は日本の主張支持

外相の演説に織込む

對外關係の重要問題

一、各國との通商關係調整問題

定例閣議

【東京二十日發同盟】二十日の定例閣議は午前十時二十分より首相官邸に開催、まづ懸案事項處理を行ふべき有田外相より內奏することになつた、有田外相の內奏には次の如き對外關係重要問題に對する帝國不動の基本方針が織込まれるものと見られてゐる

一、支那中央政權確立に關する帝國の基本方策の闡明
一、對ソ問題
一、防共協定問題
一、通商航海條約問題
一、日米通商條約問題
一、支那に關する諸問題

三十一日も

臨時閣議

【東京二十日發同盟】政府は二十一日午前十時より臨時閣議を開き、枢密院正副議長及び前內閣より樞密顧問官となつてゐる官吏制度改革調査の取扱方針を協議決定することとなつた

專賣特許權や商標權は有效

約條商通も後效失

【ニューヨーク二十九日發同盟】二十九日附ニューヨーク・タイムス紙のワシントン特電に依れば日米通商條約失效の現在も第十五條の專賣特許權及び商標權に關する規定は從來通り效力を有するものと想定されてゐる

獨機が空中戰

英東北海岸を襲つて

【ロンドン二十九日發同盟】イギリス空軍省發表によれば二十九日午前ドイツ空軍がイギリス東北海岸に來襲、イギリス空軍と空中戰を交へ、更にイギリス防空砲隊も一齊に火蓋を切り、ドイツ機に追ひ迫つたのみで戰鬪を

武裝商船と獨機戰鬪

次に記り係なる戰鬪が行はれた、右武裝商船は油槽船モナーク號(八、八九五噸)汽船フェルパーク號(四、六七九噸)インペリアルモナーク號(五、八二一噸)等の英船團に結成された船團のフルース船

地上部隊に協力

陸鷲敵軍を爆撃

【○○基地二十九日發同盟】我が陸鷲第○○航空隊の○○機は二十九日皇軍大勝を祝して出動、廣西省南寧近の山地に盤據した敵陸上部隊に對し、地上部隊に協力、低空飛行を敢行し同地區を徹底的に爆撃を加へて全機無事歸還した

廉州附近で壯烈な自爆

五

【○○基地二十九日發同盟】杭州灣敵殘存部隊掃蕩の目的で廣東省吉田區吉那中將以下內陸區、樹茶區一、下兒部隊、澎湖島の五勇士搭乘の○○機は重慶○○基地を出發、當時銃雨下にも怯むなく高度を下げ敵陣を銃爆撃を加へて強襲したが、この時不意機關銃に擊墜を受け機體は炎上墜落したが、この壯烈な最期は二十九日に至り敵州百方二千餘の地点に敵陣地を構築、敵軍を殲滅に向け壯烈な自爆を遂げた

錢塘江渡河部隊の綜合戰果

【杭州二十九日發同盟】杭州灣敵殘存部隊掃蕩作戰に參加中の錢塘江渡河部隊は二十日未明錢塘江を渡河、二十一日午前八時までに敵陣地を突破、敵軍を殲滅なるが、二十七日までに判明する戰果作戰の綜合戰果左の如し

一、二十九日八十九、其他多數、戰死四百五十五、負傷三百八十七、行方不明二百三十一、鹵獲品小銃二百六十七、重機關銃二千一、軽機關銃二百八十九、其他多數

列國に立訴

新政權樹立切迫して

重慶政府は焦慮

【香港二十九日發同盟】重慶來電によれば國府中央政府當局の時局切迫に依れば新政府成立の時期切迫に依れば新政府は新政府と各國との間に外交關係が開けそれが必然的に新政府の承認にまで發展なんことあるべき旨を通告し來れるが、これが到來の暁には新政府の取扱方に關し出來るだけ重慶の態度を持せんことを望むとせしめた

山西軍内潜入の共産分子を清掃

【香港二十九日發同盟】西安來電にれば閻錫山は去る廿五日南部山西で開催の軍事會議を招集し軍紀肅正の對策を協議の結果、共產軍の潜行工作に對して山西軍内に潜入せる共產分子清掃を斷行するに決し、重慶より派遣された特務機關の活動を封じ低く赤化分子の逮捕を開始したと

蔣鼎文も共產黨狩

【香港二十九日發同盟】西北方面の國共相剋は日を逐つて激化してゐるが、陝西省第十戰區司令長官蔣鼎文は此の程共產分子に對し斷乎たる處置を講ずる方針に決したと言はれる

軍需品輸送にはとても堪へまい

川濱、佛印貴州兩公路完成

【香港二十九日發同盟】日本軍の南寧占領に依り廣西南部西部公路が杜絶し、又日本軍の反攻擊に依つて海越佛印國境も一部に破壊された結果、佛印貴州公路が重慶唯一の軍需品搬入路として脚光を浴び、佛印に續いてゐる佛印貴州公路の改修を急ぎ、佛印貴州兩公路が完成されれば重慶は從來の海路に依る軍需品の輸入の外、この兩公路に依つて佛印貴州間に月平均五千万ガロン、金額にして五百万円、即ち千万ポンドガソリンを消費して五千万ポンドガソリンを消費して

西南交通路の亂脈

【香港二十九日發同盟】重慶政權唯一の軍需品搬入路である西南交通路の實情につき最近當地で發行された支那經濟國民公論社左の如くその亂脈振りを指摘してゐる

現在西南交通に配屬されてゐる二千臺以上の自動車の內實稼働いてゐるのは僅か二割に過ぎず、殘は全部故障とか云ふ有樣である、又ガソリン補給の困難は日に日に增大しつゝあるのに西南公路のトラックは五百哩で月平均五千万ガロン、金額にして五百万円、即ち千万ポンドガソリンを消費して居り、これは英國の對重慶援助總額の一割に當つてゐる、しかも香港の運輸業者側が主張する如く事實完全に整備されたとしても次の二理由により到底所要材料の大部分は重慶へ入らないと看做してゐる

一、同公路の所在地たる西南諸省は地形險惡なる山岳及び丘陵に富むこと

二、ガソリンの大部分は川濱公路の如きは二個所で重慶へ通ずる橋梁の架設を要し、現在の如き物資輸送が船舶から陸路に還元するには三個の渡船場に相當するガソリンを消費することを指摘してゐる

國民學校の教育根本四原則

【東京二十日發同盟】昭和十六年度から小學校第一、第二學年に實施される國民學校令に關しては文部省では目下鋭意研究を進めてゐるが二十九日省内に國民學校教科調査委員會初總會を開催し、齋上參與長中野文部次官を議長から國民學校に對する教育局の方針が明かにした、即ち國民學校教育の根本は

一、皇國の道の修練たらしめる事

二、教科の分離を避け知識の統合具體化を圖ること

三、國民生活に即した教育を實施すること

四、兒童の身心發達に應じて教科教材を整理配當し國民學校八年を九貫一貫した教育たらしめること

の四原則とし、實は歐米の範を脫してわが國の特性に適應すべき眞の日本的學制と確立する爲教材には大改革を加へ、國民、理數、體練、藝能、實業の五科としこの內に從來の科目が夫々含まれることになるが、內容的に特に從來と異なる點は國民學校を地方の實情に應じ極めて鄕土教育を重視すること、代數、幾何の初步を課すること、唱歌を音樂と改稱し、歌ふ教育から「調を感ませ音を樂しむ」教育とすること等である、なほこれに伴ひ十五年度に三千五百人の訓導を再教育する豫定で、この夏の休暇を利用して全國國民學校に約二週間の講習會を開催する

人事

▲赤間高等法院判事 二十日新任
▲小磯軍務局長(台灣軍參謀長)
▲十一月內地より歸臺
▲武藤陸兵(台灣軍參謀副長)
▲三十一日來臺(着陸)
▲田邊利司氏(台灣ベルグ工業支配人)二十九日來北(鐵道ホテル)

無絃琴

◇目下、大きな問題に數へられてゐるものに「石炭統制」がある。しかし石炭ある者は心配はサンと有るので結局、配給不圓滑の問題に歸するが唯この統制は相當に大きく出づ原因は石炭の品質にあるが、又炭坑が有るべき處に少しいのと石炭を運ぶべきいふので「運搬」を缺いてゐるのは鐵道當局で、今まで既に鐵道の七割くらゐを石炭輸送に對し減らしてゐるので此の上更に石炭輸送となると全く公共に了ないといふ。無理も無いこと▲石炭は動力の源泉であり、動力は生産や運輸などの運行にも缺いてゐるわけだから石炭を相當に減らしてゐる部分などでも配給を相當に減らしてゐるため、一般と兼ね合ひ調整し、手は命がけで車に乘車するといふ實情である▲そこで大衆などは既に「石炭の生産や配給を國家の手でやつて貰ひたい」と石炭の國家管理といふ聲が擡頭してゐる。聽く所によると石炭の配給から來てゐる現象である▲昔から石炭の重要性をよく聽まされた人から聽かされたが、ソレが今日に至つて身に沿へて體驗されて來たわけだ▲鹿原商相は近日に「石炭統制」を持つて政治をする人が「だけに、そんなに石炭が不足するなら外國買を入れ業方面へ供給し、出來た品を第三國へドシ〳〵賣り付ければ石炭代など眞に出て來るではないか——との意見だつたが▲政治のコツは有ない所に有るの如く國民を騙すにて來つて自分から動きの取れない樣な狀態を作つて自分から動きの取れない樣な狀態を作つてゐる政府の無策を國民に知らせるにあつた。

巨頭會談圓滿解決

㊤は外人記者團と會見する汪精衛氏(二十六日青島迎賓館にて) ㊦はトーキーに納まる汪精衛氏(同日迎賓館にて)

二國志

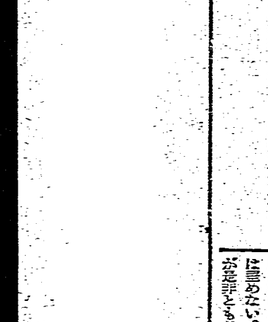
(出盧の巻)

吉川、英治作

(118)

矢野橋村畫

マツダ 真空管



淋疾 新治療法の確立は國産テラポールによつて始めて完成したのであるが、爾來類似模倣品が續出して良品の選擇に迷はしめるやの感がある。然し

專門 醫家は正しい認識によつて常にテラポールを選用されるから効力の點で確信があり、副作用の懸念も要しない。テラポールの特に優れてゐる點は

效果 が確實と云ふだけでなく治癒期間を著しく短縮し得るので經濟的であり、又速に病苦を免れしめることが治療の眞の使命に添ふものとして

推奨 される所以である。而も單に淋菌性疾患に限らず化膿菌、インフルエンザ菌、肺炎菌、腦膜炎菌、大腸菌其他の細菌性疾患に對し

多角 的の速效を現はすことも從來の藥劑に見られない特徴で、內服によつて急性症狀は勿論、十數年來の慢性症にも良く奏效することは多數專門家の實驗で明である。

—文獻抄錄集進呈—

適應症

感冒、扁桃腺炎、中耳炎
面皰、面疔、化膿性外傷
急性慢性淋疾、膀胱炎
睾丸炎、腎盂炎、白帶下
其他化膿性、細菌性疾患……

二〇錠 二圓 一〇〇錠 七圓

東京市日本橋區江戸橋三丁目
大阪市東區道修町二丁目
第一製藥株式會社

錠ルーポラテ

TH—63

拂曉から張り切り
全員必死の訓練
防空訓練の第二日目

世九日次第を切つた各北州部二種防空訓練は昨秋盛組のまま要領程に第二日を迎へた、世日午前六時うして二時間二十分後やうやく空襲警報は解除されたが、この間警報も七時五十分解除にしてから午後零時十分解除されるまでは一時間半ホウとしたがやや間をおいて今度はホントに午後一時四十分第二回の空襲警報が発令され、直後城東地區たる東西有組、同第二空軍基地たる東西有組、同第三空軍基地たる東西有組、同第四空軍基地たる東西有組、同第五空軍基地たる東西有組、同第六空軍基地たる東西有組、同第七空軍基地たる東西有組、同第八空軍基地たる東西有組、同第九空軍基地たる東西有組、同第十空軍基地たる東西有組、同第十一空軍基地たる東西有組、同第十二空軍基地たる東西有組、同第十三空軍基地たる東西有組、同第十四空軍基地たる東西有組、同第十五空軍基地たる東西有組、同第十六空軍基地たる東西有組、同第十七空軍基地たる東西有組、同第十八空軍基地たる東西有組、同第十九空軍基地たる東西有組、同第二十空軍基地たる東西有組、同第二十一空軍基地たる東西有組、同第二十二空軍基地たる東西有組、同第二十三空軍基地たる東西有組、同第二十四空軍基地たる東西有組、同第二十五空軍基地たる東西有組、同第二十六空軍基地たる東西有組、同第二十七空軍基地たる東西有組、同第二十八空軍基地たる東西有組、同第二十九空軍基地たる東西有組、同第三十空軍基地たる東西有組、同第三十一空軍基地たる東西有組、同第三十二空軍基地たる東西有組、同第三十三空軍基地たる東西有組、同第三十四空軍基地たる東西有組、同第三十五空軍基地たる東西有組、同第三十六空軍基地たる東西有組、同第三十七空軍基地たる東西有組、同第三十八空軍基地たる東西有組、同第三十九空軍基地たる東西有組、同第四十空軍基地たる東西有組、同第四十一空軍基地たる東西有組、同第四十二空軍基地たる東西有組、同第四十三空軍基地たる東西有組、同第四十四空軍基地たる東西有組、同第四十五空軍基地たる東西有組、同第四十六空軍基地たる東西有組、同第四十七空軍基地たる東西有組、同第四十八空軍基地たる東西有組、同第四十九空軍基地たる東西有組、同第五十空軍基地たる東西有組、同第五十一空軍基地たる東西有組、同第五十二空軍基地たる東西有組、同第五十三空軍基地たる東西有組、同第五十四空軍基地たる東西有組、同第五十五空軍基地たる東西有組、同第五十六空軍基地たる東西有組、同第五十七空軍基地たる東西有組、同第五十八空軍基地たる東西有組、同第五十九空軍基地たる東西有組、同第六十空軍基地たる東西有組、同第六十一空軍基地たる東西有組、同第六十二空軍基地たる東西有組、同第六十三空軍基地たる東西有組、同第六十四空軍基地たる東西有組、同第六十五空軍基地たる東西有組、同第六十六空軍基地たる東西有組、同第六十七空軍基地たる東西有組、同第六十八空軍基地たる東西有組、同第六十九空軍基地たる東西有組、同第七十空軍基地たる東西有組、同第七十一空軍基地たる東西有組、同第七十二空軍基地たる東西有組、同第七十三空軍基地たる東西有組、同第七十四空軍基地たる東西有組、同第七十五空軍基地たる東西有組、同第七十六空軍基地たる東西有組、同第七十七空軍基地たる東西有組、同第七十八空軍基地たる東西有組、同第七十九空軍基地たる東西有組、同第八十空軍基地たる東西有組、同第八十一空軍基地たる東西有組、同第八十二空軍基地たる東西有組、同第八十三空軍基地たる東西有組、同第八十四空軍基地たる東西有組、同第八十五空軍基地たる東西有組、同第八十六空軍基地たる東西有組、同第八十七空軍基地たる東西有組、同第八十八空軍基地たる東西有組、同第八十九空軍基地たる東西有組、同第九十空軍基地たる東西有組、同第九十一空軍基地たる東西有組、同第九十二空軍基地たる東西有組、同第九十三空軍基地たる東西有組、同第九十四空軍基地たる東西有組、同第九十五空軍基地たる東西有組、同第九十六空軍基地たる東西有組、同第九十七空軍基地たる東西有組、同第九十八空軍基地たる東西有組、同第九十九空軍基地たる東西有組、同第百空軍基地たる東西有組、同第百一空軍基地たる東西有組、同第百二空軍基地たる東西有組、同第百三空軍基地たる東西有組、同第百四空軍基地たる東西有組、同第百五空軍基地たる東西有組、同第百六空軍基地たる東西有組、同第百七空軍基地たる東西有組、同第百八空軍基地たる東西有組、同第百九空軍基地たる東西有組、同第百十空軍基地たる東西有組、同第百十一空軍基地たる東西有組、同第百十二空軍基地たる東西有組、同第百十三空軍基地たる東西有組、同第百十四空軍基地たる東西有組、同第百十五空軍基地たる東西有組、同第百十六空軍基地たる東西有組、同第百十七空軍基地たる東西有組、同第百十八空軍基地たる東西有組、同第百十九空軍基地たる東西有組、同第百二十空軍基地たる東西有組、同第百二十一空軍基地たる東西有組、同第百二十二空軍基地たる東西有組、同第百二十三空軍基地たる東西有組、同第百二十四空軍基地たる東西有組、同第百二十五空軍基地たる東西有組、同第百二十六空軍基地たる東西有組、同第百二十七空軍基地たる東西有組、同第百二十八空軍基地たる東西有組、同第百二十九空軍基地たる東西有組、同第百三十空軍基地たる東西有組、同第百三十一空軍基地たる東西有組、同第百三十二空軍基地たる東西有組、同第百三十三空軍基地たる東西有組、同第百三十四空軍基地たる東西有組、同第百三十五空軍基地たる東西有組、同第百三十六空軍基地たる東西有組、同第百三十七空軍基地たる東西有組、同第百三十八空軍基地たる東西有組、同第百三十九空軍基地たる東西有組、同第百四十空軍基地たる東西有組、同第百四十一空軍基地たる東西有組、同第百四十二空軍基地たる東西有組、同第百四十三空軍基地たる東西有組、同第百四十四空軍基地たる東西有組、同第百四十五空軍基地たる東西有組、同第百四十六空軍基地たる東西有組、同第百四十七空軍基地たる東西有組、同第百四十八空軍基地たる東西有組、同第百四十九空軍基地たる東西有組、同第百五十空軍基地たる東西有組、同第百五十一空軍基地たる東西有組、同第百五十二空軍基地たる東西有組、同第百五十三空軍基地たる東西有組、同第百五十四空軍基地たる東西有組、同第百五十五空軍基地たる東西有組、同第百五十六空軍基地たる東西有組、同第百五十七空軍基地たる東西有組、同第百五十八空軍基地たる東西有組、同第百五十九空軍基地たる東西有組、同第百六十空軍基地たる東西有組、同第百六十一空軍基地たる東西有組、同第百六十二空軍基地たる東西有組、同第百六十三空軍基地たる東西有組、同第百六十四空軍基地たる東西有組、同第百六十五空軍基地たる東西有組、同第百六十六空軍基地たる東西有組、同第百六十七空軍基地たる東西有組、同第百六十八空軍基地たる東西有組、同第百六十九空軍基地たる東西有組、同第百七十空軍基地たる東西有組、同第百七十一空軍基地たる東西有組、同第百七十二空軍基地たる東西有組、同第百七十三空軍基地たる東西有組、同第百七十四空軍基地たる東西有組、同第百七十五空軍基地たる東西有組、同第百七十六空軍基地たる東西有組、同第百七十七空軍基地たる東西有組、同第百七十八空軍基地たる東西有組、同第百七十九空軍基地たる東西有組、同第百八十空軍基地たる東西有組、同第百八十一空軍基地たる東西有組、同第百八十二空軍基地たる東西有組、同第百八十三空軍基地たる東西有組、同第百八十四空軍基地たる東西有組、同第百八十五空軍基地たる東西有組、同第百八十六空軍基地たる東西有組、同第百八十七空軍基地たる東西有組、同第百八十八空軍基地たる東西有組、同第百八十九空軍基地たる東西有組、同第百九十空軍基地たる東西有組、同第百九十一空軍基地たる東西有組、同第百九十二空軍基地たる東西有組、同第百九十三空軍基地たる東西有組、同第百九十四空軍基地たる東西有組、同第百九十五空軍基地たる東西有組、同第百九十六空軍基地たる東西有組、同第百九十七空軍基地たる東西有組、同第百九十八空軍基地たる東西有組、同第百九十九空軍基地たる東西有組、同第二百空軍基地たる東西有組、同第二百一空軍基地たる東西有組、同第二百二空軍基地たる東西有組、同第二百三空軍基地たる東西有組、同第二百四空軍基地たる東西有組、同第二百五空軍基地たる東西有組、同第二百六空軍基地たる東西有組、同第二百七空軍基地たる東西有組、同第二百八空軍基地たる東西有組、同第二百九空軍基地たる東西有組、同第二百十空軍基地たる東西有組、同第二百十一空軍基地たる東西有組、同第二百十二空軍基地たる東西有組、同第二百十三空軍基地たる東西有組、同第二百十四空軍基地たる東西有組、同第二百十五空軍基地たる東西有組、同第二百十六空軍基地たる東西有組、同第二百十七空軍基地たる東西有組、同第二百十八空軍基地たる東西有組、同第二百十九空軍基地たる東西有組、同第二百二十空軍基地たる東西有組、同第二百二十一空軍基地たる東西有組、同第二百二十二空軍基地たる東西有組、同第二百二十三空軍基地たる東西有組、同第二百二十四空軍基地たる東西有組、同第二百二十五空軍基地たる東西有組、同第二百二十六空軍基地たる東西有組、同第二百二十七空軍基地たる東西有組、同第二百二十八空軍基地たる東西有組、同第二百二十九空軍基地たる東西有組、同第二百三十空軍基地たる東西有組、同第二百三十一空軍基地たる東西有組、同第二百三十二空軍基地たる東西有組、同第二百三十三空軍基地たる東西有組、同第二百三十四空軍基地たる東西有組、同第二百三十五空軍基地たる東西有組、同第二百三十六空軍基地たる東西有組、同第二百三十七空軍基地たる東西有組、同第二百三十八空軍基地たる東西有組、同第二百三十九空軍基地たる東西有組、同第二百四十空軍基地たる東西有組、同第二百四十一空軍基地たる東西有組、同第二百四十二空軍基地たる東西有組、同第二百四十三空軍基地たる東西有組、同第二百四十四空軍基地たる東西有組、同第二百四十五空軍基地たる東西有組、同第二百四十六空軍基地たる東西有組、同第二百四十七空軍基地たる東西有組、同第二百四十八空軍基地たる東西有組、同第二百四十九空軍基地たる東西有組、同第二百五十空軍基地たる東西有組、同第二百五十一空軍基地たる東西有組、同第二百五十二空軍基地たる東西有組、同第二百五十三空軍基地たる東西有組、同第二百五十四空軍基地たる東西有組、同第二百五十五空軍基地たる東西有組、同第二百五十六空軍基地たる東西有組、同第二百五十七空軍基地たる東西有組、同第二百五十八空軍基地たる東西有組、同第二百五十九空軍基地たる東西有組、同第二百六十空軍基地たる東西有組、同第二百六十一空軍基地たる東西有組、同第二百六十二空軍基地たる東西有組、同第二百六十三空軍基地たる東西有組、同第二百六十四空軍基地たる東西有組、同第二百六十五空軍基地たる東西有組、同第二百六十六空軍基地たる東西有組、同第二百六十七空軍基地たる東西有組、同第二百六十八空軍基地たる東西有組、同第二百六十九空軍基地たる東西有組、同第二百七十空軍基地たる東西有組、同第二百七十一空軍基地たる東西有組、同第二百七十二空軍基地たる東西有組、同第二百七十三空軍基地たる東西有組、同第二百七十四空軍基地たる東西有組、同第二百七十五空軍基地たる東西有組、同第二百七十六空軍基地たる東西有組、同第二百七十七空軍基地たる東西有組、同第二百七十八空軍基地たる東西有組、同第二百七十九空軍基地たる東西有組、同第二百八十空軍基地たる東西有組、同第二百八十一空軍基地たる東西有組、同第二百八十二空軍基地たる東西有組、同第二百八十三空軍基地たる東西有組、同第二百八十四空軍基地たる東西有組、同第二百八十五空軍基地たる東西有組、同第二百八十六空軍基地たる東西有組、同第二百八十七空軍基地たる東西有組、同第二百八十八空軍基地たる東西有組、同第二百八十九空軍基地たる東西有組、同第二百九十空軍基地たる東西有組、同第二百九十一空軍基地たる東西有組、同第二百九十二空軍基地たる東西有組、同第二百九十三空軍基地たる東西有組、同第二百九十四空軍基地たる東西有組、同第二百九十五空軍基地たる東西有組、同第二百九十六空軍基地たる東西有組、同第二百九十七空軍基地たる東西有組、同第二百九十八空軍基地たる東西有組、同第二百九十九空軍基地たる東西有組、同第三百空軍基地たる東西有組、同第三百一空軍基地たる東西有組、同第三百二空軍基地たる東西有組、同第三百三空軍基地たる東西有組、同第三百四空軍基地たる東西有組、同第三百五空軍基地たる東西有組、同第三百六空軍基地たる東西有組、同第三百七空軍基地たる東西有組、同第三百八空軍基地たる東西有組、同第三百九空軍基地たる東西有組、同第三百十空軍基地たる東西有組、同第三百十一空軍基地たる東西有組、同第三百十二空軍基地たる東西有組、同第三百十三空軍基地たる東西有組、同第三百十四空軍基地たる東西有組、同第三百十五空軍基地たる東西有組、同第三百十六空軍基地たる東西有組、同第三百十七空軍基地たる東西有組、同第三百十八空軍基地たる東西有組、同第三百十九空軍基地たる東西有組、同第三百二十空軍基地たる東西有組、同第三百二十一空軍基地たる東西有組、同第三百二十二空軍基地たる東西有組、同第三百二十三空軍基地たる東西有組、同第三百二十四空軍基地たる東西有組、同第三百二十五空軍基地たる東西有組、同第三百二十六空軍基地たる東西有組、同第三百二十七空軍基地たる東西有組、同第三百二十八空軍基地たる東西有組、同第三百二十九空軍基地たる東西有組、同第三百三十空軍基地たる東西有組、同第三百三十一空軍基地たる東西有組、同第三百三十二空軍基地たる東西有組、同第三百三十三空軍基地たる東西有組、同第三百三十四空軍基地たる東西有組、同第三百三十五空軍基地たる東西有組、同第三百三十六空軍基地たる東西有組、同第三百三十七空軍基地たる東西有組、同第三百三十八空軍基地たる東西有組、同第三百三十九空軍基地たる東西有組、同第三百四十空軍基地たる東西有組、同第三百四十一空軍基地たる東西有組、同第三百四十二空軍基地たる東西有組、同第三百四十三空軍基地たる東西有組、同第三百四十四空軍基地たる東西有組、同第三百四十五空軍基地たる東西有組、同第三百四十六空軍基地たる東西有組、同第三百四十七空軍基地たる東西有組、同第三百四十八空軍基地たる東西有組、同第三百四十九空軍基地たる東西有組、同第三百五十空軍基地たる東西有組、同第三百五十一空軍基地たる東西有組、同第三百五十二空軍基地たる東西有組、同第三百五十三空軍基地たる東西有組、同第三百五十四空軍基地たる東西有組、同第三百五十五空軍基地たる東西有組、同第三百五十六空軍基地たる東西有組、同第三百五十七空軍基地たる東西有組、同第三百五十八空軍基地たる東西有組、同第三百五十九空軍基地たる東西有組、同第三百六十空軍基地たる東西有組、同第三百六十一空軍基地たる東西有組、同第三百六十二空軍基地たる東西有組、同第三百六十三空軍基地たる東西有組、同第三百六十四空軍基地たる東西有組、同第三百六十五空軍基地たる東西有組、同第三百六十六空軍基地たる東西有組、同第三百六十七空軍基地たる東西有組、同第三百六十八空軍基地たる東西有組、同第三百六十九空軍基地たる東西有組、同第三百七十空軍基地たる東西有組、同第三百七十一空軍基地たる東西有組、同第三百七十二空軍基地たる東西有組、同第三百七十三空軍基地たる東西有組、同第三百七十四空軍基地たる東西有組、同第三百七十五空軍基地たる東西有組、同第三百七十六空軍基地たる東西有組、同第三百七十七空軍基地たる東西有組、同第三百七十八空軍基地たる東西有組、同第三百七十九空軍基地たる東西有組、同第三百八十空軍基地たる東西有組、同第三百八十一空軍基地たる東西有組、同第三百八十二空軍基地たる東西有組、同第三百八十三空軍基地たる東西有組、同第三百八十四空軍基地たる東西有組、同第三百八十五空軍基地たる東西有組、同第三百八十六空軍基地たる東西有組、同第三百八十七空軍基地たる東西有組、同第三百八十八空軍基地たる東西有組、同第三百八十九空軍基地たる東西有組、同第三百九十空軍基地たる東西有組、同第三百九十一空軍基地たる東西有組、同第三百九十二空軍基地たる東西有組、同第三百九十三空軍基地たる東西有組、同第三百九十四空軍基地たる東西有組、同第三百九十五空軍基地たる東西有組、同第三百九十六空軍基地たる東西有組、同第三百九十七空軍基地たる東西有組、同第三百九十八空軍基地たる東西有組、同第三百九十九空軍基地たる東西有組、同第四百空軍基地たる東西有組、同第四百一空軍基地たる東西有組、同第四百二空軍基地たる東西有組、同第四百三空軍基地たる東西有組、同第四百四空軍基地たる東西有組、同第四百五空軍基地たる東西有組、同第四百六空軍基地たる東西有組、同第四百七空軍基地たる東西有組、同第四百八空軍基地たる東西有組、同第四百九空軍基地たる東西有組、同第四百十空軍基地たる東西有組、同第四百十一空軍基地たる東西有組、同第四百十二空軍基地たる東西有組、同第四百十三空軍基地たる東西有組、同第四百十四空軍基地たる東西有組、同第四百十五空軍基地たる東西有組、同第四百十六空軍基地たる東西有組、同第四百十七空軍基地たる東西有組、同第四百十八空軍基地たる東西有組、同第四百十九空軍基地たる東西有組、同第四百二十空軍基地たる東西有組、同第四百二十一空軍基地たる東西有組、同第四百二十二空軍基地たる東西有組、同第四百二十三空軍基地たる東西有組、同第四百二十四空軍基地たる東西有組、同第四百二十五空軍基地たる東西有組、同第四百二十六空軍基地たる東西有組、同第四百二十七空軍基地たる東西有組、同第四百二十八空軍基地たる東西有組、同第四百二十九空軍基地たる東西有組、同第四百三十空軍基地たる東西有組、同第四百三十一空軍基地たる東西有組、同第四百三十二空軍基地たる東西有組、同第四百三十三空軍基地たる東西有組、同第四百三十四空軍基地たる東西有組、同第四百三十五空軍基地たる東西有組、同第四百三十六空軍基地たる東西有組、同第四百三十七空軍基地たる東西有組、同第四百三十八空軍基地たる東西有組、同第四百三十九空軍基地たる東西有組、同第四百四十空軍基地たる東西有組、同第四百四十一空軍基地たる東西有組、同第四百四十二空軍基地たる東西有組、同第四百四十三空軍基地たる東西有組、同第四百四十四空軍基地たる東西有組、同第四百四十五空軍基地たる東西有組、同第四百四十六空軍基地たる東西有組、同第四百四十七空軍基地たる東西有組、同第四百四十八空軍基地たる東西有組、同第四百四十九空軍基地たる東西有組、同第四百五十空軍基地たる東西有組、同第四百五十一空軍基地たる東西有組、同第四百五十二空軍基地たる東西有組、同第四百五十三空軍基地たる東西有組、同第四百五十四空軍基地たる東西有組、同第四百五十五空軍基地たる東西有組、同第四百五十六空軍基地たる東西有組、同第四百五十七空軍基地たる東西有組、同第四百五十八空軍基地たる東西有組、同第四百五十九空軍基地たる東西有組、同第四百六十空軍基地たる東西有組、同第四百六十一空軍基地たる東西有組、同第四百六十二空軍基地たる東西有組、同第四百六十三空軍基地たる東西有組、同第四百六十四空軍基地たる東西有組、同第四百六十五空軍基地たる東西有組、同第四百六十六空軍基地たる東西有組、同第四百六十七空軍基地たる東西有組、同第四百六十八空軍基地たる東西有組、同第四百六十九空軍基地たる東西有組、同第四百七十空軍基地たる東西有組、同第四百七十一空軍基地たる東西有組、同第四百七十二空軍基地たる東西有組、同第四百七十三空軍基地たる東西有組、同第四百七十四空軍基地たる東西有組、同第四百七十五空軍基地たる東西有組、同第四百七十六空軍基地たる東西有組、同第四百七十七空軍基地たる東西有組、同第四百七十八空軍基地たる東西有組、同第四百七十九空軍基地たる東西有組、同第四百八十空軍基地たる東西有組、同第四百八十一空軍基地たる東西有組、同第四百八十二空軍基地たる東西有組、同第四百八十三空軍基地たる東西有組、同第四百八十四空軍基地たる東西有組、同第四百八十五空軍基地たる東西有組、同第四百八十六空軍基地たる東西有組、同第四百八十七空軍基地たる東西有組、同第四百八十八空軍基地たる東西有組、同第四百八十九空軍基地たる東西有組、同第四百九十空軍基地たる東西有組、同第四百九十一空軍基地たる東西有組、同第四百九十二空軍基地たる東西有組、同第四百九十三空軍基地たる東西有組、同第四百九十四空軍基地たる東西有組、同第四百九十五空軍基地たる東西有組、同第四百九十六空軍基地たる東西有組、同第四百九十七空軍基地たる東西有組、同第四百九十八空軍基地たる東西有組、同第四百九十九空軍基地たる東西有組、同第五百空軍基地たる東西有組、同第五百一空軍基地たる東西有組、同第五百二空軍基地たる東西有組、同第五百三空軍基地たる東西有組、同第五百四空軍基地たる東西有組、同第五百五空軍基地たる東西有組、同第五百六空軍基地たる東西有組、同第五百七空軍基地たる東西有組、同第五百八空軍基地たる東西有組、同第五百九空軍基地たる東西有組、同第五百十空軍基地たる東西有組、同第五百十一空軍基地たる東西有組、同第五百十二空軍基地たる東西有組、同第五百十三空軍基地たる東西有組、同第五百十四空軍基地たる東西有組、同第五百十五空軍基地たる東西有組、同第五百十六空軍基地たる東西有組、同第五百十七空軍基地たる東西有組、同第五百十八空軍基地たる東西有組、同第五百十九空軍基地たる東西有組、同第五百二十空軍基地たる東西有組、同第五百二十一空軍基地たる東西有組、同第五百二十二空軍基地たる東西有組、同第五百二十三空軍基地たる東西有組、同第五百二十四空軍基地たる東西有組、同第五百二十五空軍基地たる東西有組、同第五百二十六空軍基地たる東西有組、同第五百二十七空軍基地たる東西有組、同第五百二十八空軍基地たる東西有組、同第五百二十九空軍基地たる東西有組、同第五百三十空軍基地たる東西有組、同第五百三十一空軍基地たる東西有組、同第五百三十二空軍基地たる東西有組、同第五百三十三空軍基地たる東西有組、同第五百三十四空軍基地たる東西有組、同第五百三十五空軍基地たる東西有組、同第五百三十六空軍基地たる東西有組、同第五百三十七空軍基地たる東西有組、同第五百三十八空軍基地たる東西有組、同第五百三十九空軍基地たる東西有組、同第五百四十空軍基地たる東西有組、同第五百四十一空軍基地たる東西有組、同第五百四十二空軍基地たる東西有組、同第五百四十三空軍基地たる東西有組、同第五百四十四空軍基地たる東西有組、同第五百四十五空軍基地たる東西有組、同第五百四十六空軍基地たる東西有組、同第五百四十七空軍基地たる東西有組、同第五百四十八空軍基地たる東西有組、同第五百四十九空軍基地たる東西有組、同第五百五十空軍基地たる東西有組、同第五百五十一空軍基地たる東西有組、同第五百五十二空軍基地たる東西有組、同第五百五十三空軍基地たる東西有組、同第五百五十四空軍基地たる東西有組、同第五百五十五空軍基地たる東西有組、同第五百五十六空軍基地たる東西有組、同第五百五十七空軍基地たる東西有組、同第五百五十八空軍基地たる東西有組、同第五百五十九空軍基地たる東西有組、同第五百六十空軍基地たる東西有組、同第五百六十一空軍基地たる東西有組、同第五百六十二空軍基地たる東西有組、同第五百六十三空軍基地たる東西有組、同第五百六十四空軍基地たる東西有組、同第五百六十五空軍基地たる東西有組、同第五百六十六空軍基地たる東西有組、同第五百六十七空軍基地たる東西有組、同第五百六十八空軍基地たる東西有組、同第五百六十九空軍基地たる東西有組、同第五百七十空軍基地たる東西有組、同第五百七十一空軍基地たる東西有組、同第五百七十二空軍基地たる東西有組、同第五百七十三空軍基地たる東西有組、同第五百七十四空軍基地たる東西有組、同第五百七十五空軍基地たる東西有組、同第五百七十六空軍基地たる東西有組、同第五百七十七空軍基地たる東西有組、同第五百七十八空軍基地たる東西有組、同第五百七十九空軍基地たる東西有組、同第五百八十空軍基地たる東西有組、同第五百八十一空軍基地たる東西有組、同第五百八十二空軍基地たる東西有組、同第五百八十三空軍基地たる東西有組、同第五百八十四空軍基地たる東西有組、同第五百八十五空軍基地たる東西有組、同第五百八十六空軍基地たる東西有組、同第五百八十七空軍基地たる東西有組、同第五百八十八空軍基地たる東西有組、同第五百八十九空軍基地たる東西有組、同第五百九十空軍基地たる東西有組、同第五百九十一空軍基地たる東西有組、同第五百九十二空軍基地たる東西有組、同第五百九十三空軍基地たる東西有組、同第五百九十四空軍基地たる東西有組、同第五百九十五空軍基地たる東西有組、同第五百九十六空軍基地たる東西有組、同第五百九十七空軍基地たる東西有組、同第五百九十八空軍基地たる東西有組、同第五百九十九空軍基地たる東西有組、同第六百空軍基地たる東西有組、同第六百一空軍基地たる東西有組、同第六百二空軍基地たる東西有組、同第六百三空軍基地たる東西有組、同第六百四空軍基地たる東西有組、同第六百五空軍基地たる東西有組、同第六百六空軍基地たる東西有組、同第六百七空軍基地たる東西有組、同第六百八空軍基地たる東西有組、同第六百九空軍基地たる東西有組、同第六百十空軍基地たる東西有組、同第六百十一空軍基地たる東西有組、同第六百十二空軍基地たる東西有組、同第六百十三空軍基地たる東西有組、同第六百十四空軍基地たる東西有組、同第六百十五空軍基地たる東西有組、同第六百十六空軍基地たる東西有組、同第六百十七空軍基地たる東西有組、同第六百十八空軍基地たる東西有組、同第六百十九空軍基地たる東西有組、同第六百二十空軍基地たる東西有組、同第六百二十一空軍基地たる東西有組、同第六百二十二空軍基地たる東西有組、同第六百二十三空軍基地たる東西有組、同第六百二十四空軍基地たる東西有組、同第六百二十五空軍基地たる東西有組、同第六百二十六空軍基地たる東西有組、同第六百二十七空軍基地たる東西有組、同第六百二十八空軍基地たる東西有組、同第六百二十九空軍基地たる東西有組、同第六百三十空軍基地たる東西有組、同第六百三十一空軍基地たる東西有組、同第六百三十二空軍基地たる東西有組、同第六百三十三空軍基地たる東西有組、同第六百三十四空軍基地たる東西有組、同第六百三十五空軍基地たる東西有組、同第六百三十六空軍基地たる東西有組、同第六百三十七空軍基地たる東西有組、同第六百三十八空軍基地たる東西有組、同第六百三十九空軍基地たる東西有組、同第六百四十空軍基地たる東西有組、同第六百四十一空軍基地たる東西有組、同第六百四十二空軍基地たる東西有組、同第六百四十三空軍基地たる東西有組、同第六百四十四空軍基地たる東西有組、同第六百四十五空軍基地たる東西有組、同第六百四十六空軍基地たる東西有組、同第六百四十七空軍基地たる東西有組、同第六百四十八空軍基地たる東西有組、同第六百四十九空軍基地たる東西有組、同第六百五十空軍基地たる東西有組、同第六百五十一空軍基地たる東西有組、同第六百五十二空軍基地たる東西有組、同第六百五十三空軍基地たる東西有組、同第六百五十四空軍基地たる東西有組、同第六百五十五空軍基地たる東西有組、同第六百五十六空軍基地たる東西有組、同第六百五十七空軍基地たる東西有組、同第六百五十八空軍基地たる東西有組、同第六百五十九空軍基地たる東西有組、同第六百六十空軍基地たる東西有組、同第六百六十一空軍基地たる東西有組、同第六百六十二空軍基地たる東西有組、同第六百六十三空軍基地たる東西有組、同第六百六十四空軍基地たる東西有組、同第六百六十五空軍基地たる東西有組、同第六百六十六空軍基地たる東西有組、同第六百六十七空軍基地たる東西有組、同第六百六十八空軍基地たる東西有組、同第六百六十九空軍基地たる東西有組、同第六百七十空軍基地たる東西有組、同第六百七十一空軍基地たる東西有組、同第六百七十二空軍基地たる東西有組、同第六百七十三空軍基地たる東西有組、同第六百七十四空軍基地たる東西有組、同第六百七十五空軍基地たる東西有組、同第六百七十六空軍基地たる東西有組、同第六百七十七空軍基地たる東西有組、同第六百七十八空軍基地たる東西有組、同第六百七十九空軍基地たる東西有組、同第六百八十空軍基地たる東西有組、同第六百八十一空軍基地たる東西有組、同第六百八十二空軍基地たる東西有組、同第六百八十三空軍基地たる東西有組、同第六百八十四空軍基地たる東西有組、同第六百八十五空軍基地たる東西有組、同第六百八十六空軍基地たる東西有組、同第六百八十七空軍基地たる東西有組、同第六百八十八空軍基地たる東西有組、同第六百八十九空軍基地たる東西有組、同第六百九十空軍基地たる東西有組、同第六百九十一空軍基地たる東西有組、同第六百九十二空軍基地たる東西有組、同第六百九十三空軍基地たる東西有組、同第六百九十四空軍基地たる東西有組、同第六百九十五空軍基地たる東西有組、同第六百九十六空軍基地たる東西有組、同第六百九十七空軍基地たる東西有組、同第六百九十八空軍基地たる東西有組、同第六百九十九空軍基地たる東西有組、同第七百空軍基地たる東西有組、同第七百一空軍基地たる東西有組、同第七百二空軍基地たる東西有組、同第七百三空軍基地たる東西有組、同第七百四空軍基地たる東西有組、同第七百五空軍基地たる東西有組、同第七百六空軍基地たる東西有組、同第七百七空軍基地たる東西有組、同第七百八空軍基地たる東西有組、同第七百九空軍基地たる東西有組、同第七百十空軍基地たる東西有組、同第七百十一空軍基地たる東西有組、同第七百十二空軍基地たる東西有組、同第七百十三空軍基地たる東西有組、同第七百十四空軍基地たる東西有組、同第七百十五空軍基地たる東西有組、同第七百十六空軍基地たる東西有組、同第七百十七空軍基地たる東西有組、同第七百十八空軍基地たる東西有組、同第七百十九空軍基地たる東西有組、同第七百二十空軍基地たる東西有組、同第七百二十一空軍基地たる東西有組、同第七百二十二空軍基地たる東西有組、同第七百二十三空軍基地たる東西有組、同第七百二十四空軍基地たる東西有組、同第七百二十五空軍基地たる東西有組、同第七百二十六空軍基地たる東西有組、同第七百二十七空軍基地たる東西有組、同第七百二十八空軍基地たる東西有組、同第七百二十九空軍基地たる東西有組、同第七百三十空軍基地たる東西有組、同第七百三十一空軍基地たる東西有組、同第七百三十二空軍基地たる東西有組、同第七百三十三空軍基地たる東西有組、同第七百三十四空軍基地たる東西有組、同第七百三十五空軍基地たる東西有組、同第七百三十六空軍基地たる東西有組、同第七百三十七空軍基地たる東西有組、同第七百三十八空軍基地たる東西有組、同第七百三十九空軍基地たる東西有組、同第七百四十空軍基地たる東西有組、同第七百四十一空軍基地たる東西有組、同第七百四十二空軍基地たる東西有組、同第七百四十三空軍基地たる東西有組、同第七百四十四空軍基地たる東西有組、同第七百四十五空軍基地たる東西有組、同第七百四十六空軍基地たる東西有組、同第七百四十七空軍基地たる東西有組、同第七百四十八空軍基地たる東西有組、同第七百四十九空軍基地たる東西有組、同第七百五十空軍基地たる東西有組、同第七百五十一空軍基地たる東西有組、同第七百五十二空軍基地たる東西有組、同第七百五十三空軍基地たる東西有組、同第七百五十四空軍基地たる東西有組、同第七百五十五空軍基地たる東西有組、同第七百五十六空軍基地たる東西有組、同第七百五十七空軍基地たる東西有組、同第七百五十八空軍基地たる東西有組、同第七百五十九空軍基地たる東西有組、同第七百六十空軍基地たる東西有組、同第七百六十一空軍基地たる東西有組、同第七百六十二空軍基地たる東西有組、同第七百六十三空軍基地たる東西有組、同第七百六十四空軍基地たる東西有組、同第七百六十五空軍基地たる東西有組、同第七百六十六空軍基地たる東西有組、同第七百六十七空軍基地たる東西有組、同第七百六十八空軍基地たる東西有組、同第七百六十九空軍基地たる東西有組、同第七百七十空軍基地たる東西有組、同第七百七十一空軍基地たる東西有組、同第七百七十二空軍基地たる東西有組、同第七百七十三空軍基地たる東西有組、同第七百七十四空軍基地たる東西有組、同第七百七十五空軍基地たる東西有組、同第七百七十六空軍基地たる東西有組、同第七百七十七空軍基地たる東西有組、同第七百七十八空軍基地たる東西有組、同第七百七十九空軍基地たる東西有組、同第七百八十空軍基地たる東西有組、同第七百八十一空軍基地たる東西有組、同第七百八十二空軍基地たる東西有組、同第七百八十三空軍基地たる東西有組、同第七百八十四空軍基地たる東西有組、同第七百八十五空軍基地たる東西有組、同第七百八十六空軍基地たる東西有組、同第七百八十七空軍基地たる東西有組、同第七百八十八空軍基地たる東西有組、同第七百八十九空軍基地たる東西有組、同第七百九十空軍基地たる東西有組、同第七百九十一空軍基地たる東西有組、同第七百九十二空軍基地たる東西有組、同第七百九十三空軍基地たる東西有組、同第七百九十四空軍基地たる東西有組、同第七百九十五空軍基地たる東西有組、同第七百九十六空軍基地たる東西有組、同第七百九十七空軍基地たる東西有組、同第七百九十八空軍基地たる東西有組、同第七百九十九空軍基地たる東西有組、同第八百空軍基地たる東西有組、同第八百一空軍基地たる東西有組、同第八百二空軍基地たる東西有組、同第八百三空軍基地たる東西有組、同第八百四空軍基地たる東西有組、同第八百五空軍基地たる東西有組、同第八百六空軍基地たる東西有組、同第八百七空軍基地たる東西有組、同第八百八空軍基地たる東西有組、同第八百九空軍基地たる東西有組、同第八百十空軍基地たる東西有組、同第八百十一空軍基地たる東西有組、同第八百十二空軍基地たる東西有組、同第八百十三空軍基地たる東西有組、同第八百十四空軍基地たる東西有組、同第八百十五空軍基地たる東西有組、同第八百十六空軍基地たる東西有組、同第八百十七空軍基地たる東西有組、同第八百十八空軍基地たる東西有組、同第八百十九空軍基地たる東西有組、同第八百二十空軍基地たる東西有組、同第八百二十一空軍基地たる東西有組、同第八百二十二空軍基地たる東西有組、同第八百二十三空軍基地たる東西有組、同第八百二十四空軍基地たる東西有組、同第八百二十五空軍基地たる東西有組、同第八百二十六空軍基地たる東西有組、同第八百二十七空軍基地たる東西有組、同第八百二十八空軍基地たる東西有組、同第八百二十九空軍基地たる東西有組、同第八百三十空軍基地たる東西有組、同第八百三十一空軍基地たる東西有組、同第八百三十二空軍基地たる東西有組、同第八百三十三空軍基地たる東西有組、同第八百三十四空軍基地たる東西有組、同第八百三十五空軍基地たる東西有組、同第八百三十六空軍基地たる東西有組、同第八百三十七空軍基地たる東西有組、同第八百三十八空軍基地たる東西有組、同第八百三十九空軍基地たる東西有組、同第八百四十空軍基地たる東西有組、同第八百四十一空軍基地たる東西有組、同第八百四十二空軍基地たる東西有組、同第八百四十三空軍基地たる東西有組、同第八百四十四空軍基地たる東西有組、同第八百四十五空軍基地たる東西有組、同第八百四十六空軍基地たる東西有組、同第八百四十七空軍基地たる東西有組、同第八百四十八空軍基地たる東西有組、同第八百四十九空軍基地たる東西有組、同第八百五十空軍基地たる東西有組、同第八百五十一空軍基地たる東西有組、同第八百五十二空軍基地たる東西有組、同第八百五十三空軍基地たる東西有組、同第八百五十四空軍基地たる東西有組、同第八百五十五空軍基地たる東西有組、同第八百五十六空軍基地たる東西有組、同第八百五十七空軍基地たる東西有組、同第八百五十八空軍基地たる東西有組、同第八百五十九空軍基地たる東西有組、同第八百六十空軍基地たる東西有組、同第八百六十一空軍基地たる東西有組、同第八百六十二空軍基地たる東西有組、同第八百六十三空軍基地た

宙返り飛行
元祖は佛人ベグー
ロシヤでは大馬鹿者と嚴罰

空中競技に於て曲乘り的な宙返りは宙返りが最も危險であることは、現在では常識となつてゐるが、それも空中戰の大進歩を遂げた今日であればこその事で、我國などでは二十五年程以前にはまだ多數の人が宙返りなどは萬人の爲すべきわざではないと云つた程であつた

×

然らば、其の曲乘りの宙返りをやつた最初の人は誰か――それはフランスのアドルフ・ベグー其人であつた、彼は一九一二年ブレリオ戰捷機の主翼の强さをテストレートするために世界最初の宙返りを敢行した、もつともそれは前已に二人の飛行家の屍のために

梁中の飛行機をひつくり返されて死のために地球を仰ぎ見らヒラ〳〵と降りしい墜落飛行に陷つてゐやぶく、命を失ふ所であつたが、それでもどうやら無事に正常に復して危機を脫することが出來たのであつた

×

其の外にもロシヤの一飛行將校が、どう云ふはづみか飛行機を宙返らせて「逆方もない大馬鹿者」として嚴罰に處せられた、と云ふ記錄が殘つてゐる――サテ、話はベグーに戻つて……彼は其の外にもパラシュート降下の「鼻」をたしたが、其のベグーの宙返りも何ぞ計らん、怨ち空中戰鬪劇作の一番組なものとなつてすつた

×

ベルリンに於ての宙返りをやつて見せて「獨逸人はヒステリカルに熱狂しに」と笑つて罵つたベグー讐佛國西人は、今度は獨逸のインメルマンが、敵る空中戰で九死に一生を得るために飛行した宙返り反轉――即ちそれはインメルマン・ターンと呼ばれる反轉の前に笑ひ事では居られなくなつた

×

佛人なフオッカー戰鬪機は、ヴエルダン戰線に於ては此の名パイロツト、インメルマンとは切り放せない名前であつた、インメルマンとフオッカーの名は、恐怖にとつては、一つの恐怖を含んだ存在であつた、インメルマンは敵機を

兵器を造る

戰火はつづく
戰慶の
追悼十週は
今夜なく消滅する

――ニューヨーク――

陸軍に關する發明に、用意して居た花束を其の上に捧げた……と云ふエピソードが傳へられてゐる

×

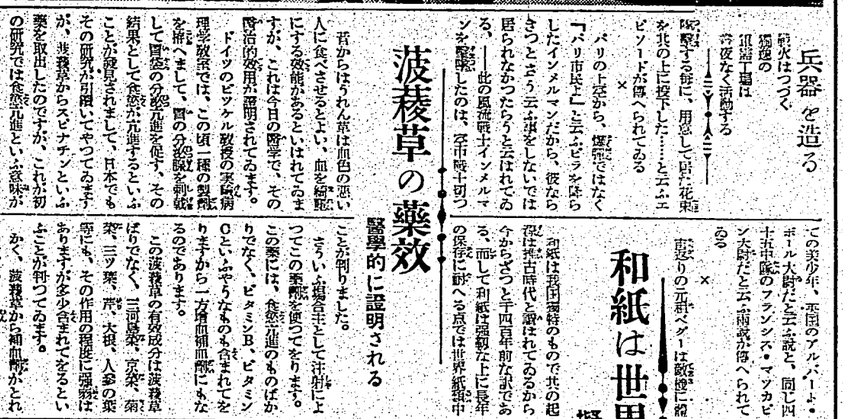
パリの上空から、爆彈ではなく「パリ市民へ」と云ふビラを撒らしたインメルマンだから、彼ならさうとよう云ふ事をしないでは居られなかつたらうと云はれてゐる、――世の風流戰士インメルマンを驚嘆したのは、空中戰十切つ

菠薐草の藥效
醫學的に證明される

昔からほうれん草は血色の悪い人に食べさせるとよい、血を補給にする效能があるといはれてゐますが、これは今日の醫學で、その醫治的效果が證明されてゐます、ドイツのビツケル敎授の實驗病理學敎室では、この頃一種の製劑を作へまして、胃の分泌液を刺戟して胃液の分泌充進を促す、その結果として食慾が充進するといふことが發見されまして、日本でもその研究が引續いてやつてゐますが、非常からスピナチンといふ藥を取出したのですが、これが初の研究には食慾亢進といふ症狀が主なのでありました處、最近は補血劑即ち鐵血の藥にもなるといふ

和紙は世界一
擬革も最優秀

和紙は我國獨特のもので其の起源は遠く古時代と傳はれてゐるから今からざつと千四百年前の昔である、而して和紙は當初より上に長年の保存に耐へる點では世界紙類中



この美少年、英國のアルバート・ボール大尉だと云ふ說と、同じ四十五中隊のフランソワ・マツカビン大尉だと云ふ說が傳へられてゐる

×

宙返りの元祖ベグーは敵機に體

飛行家をやつた、だが、此の何れもがバイオニアは大體初期の中に不慮の業務を遂げて、華々しい併し短き生涯を終へてゐた

梅毒が治つたら
頭の重いのが取れて
とてもハツキリしました

埼玉縣　後〇〇信氏談

長く深山に出ましたら急に頭が軽くハツキリとなりました。其後一月程服用しました處、スツカリ頭が良くなり記憶力も記憶力も元通りになり、復分も快眠がとれ、全く無病健康に復しました。これも全く深山院製藥所の家傳藥のお蔭で數はれたものと深く感謝して居ります。此家傳藥の詳細は最後にあります

梅毒性吹出物が
しつこく出來たが
すつかりキレイに治りました

新潟縣　吉〇逢〇氏談

私は古い梅毒が原因で梅毒性吹出物が顔から首筋、脊中まで時々澁山出來て惱まされるので色々の醫心から新聞で見た處、帝國醫藥所にある家傳の梅毒性吹出物がスツカリなくなり、顏の血色もよくなり氣分も良くなりました。此家傳藥の詳細は最後にあります

梅毒が咽喉に來て
聲が嗄れましたが
家傳藥で救はれました

千葉縣　中〇良〇氏談

私は昨年の正月梅毒に感染したと思つたので種々手當をしましたが其後一日增しに聲嗄れて遂に聲が全く出なくなりました。友人から家傳藥でよいのが東京の帝國醫藥所にあると聞いたので早速一月分を取寄せて服んでみた處二日目の朝黒色した膿

梅毒のために
手や足が痛んだり
身體が非常にダルカツタが

神奈川縣　遠藤〇〇氏談

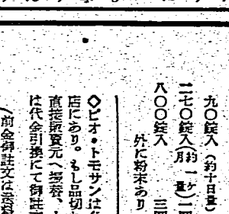
私は昨年春頃フトしたことから梅毒を受けましてから身體がダルク手足はおろか身體の關節が痛んだり、頭髮が抜けたり、吹出物が出來たり、手足がシビレたり、身體がダルクてお話のお方ならば必ず、効能が良く現れる醫院藥であるメキメキ癒が取れて、全く元の健康體となるので同病者間で評判の家傳の名藥が當院にありますから一日も早いのが評判

戰時を反映した
パリ娘の服裝

パリの流行好きな娘たちのことでは戰時調が濃厚となり、市場の買出しもバスや電車に乘らず自轉車をとばすのが流行です

だから大きな買物ぶくろを提げたのでは不便とあつて肩のあつちこつちへ大きなポケットを付け出した、左右に二つ三つ澁さんの腰のやうな大合に大きいもの、また「カンガルー・ポケット」と呼はれるもので、前のお腹のところへ付けた大きい袋、これならなんでも入るし、バタルを落とすのに便利でせう

それからぜいたくなハンドバツグをぶらさげる代りに腰紐に手首へかさた袋をつけて、この中へ口紅から白粉、ヘヤピン、鍵など見て女に大事なセツ道具を忘れ



取るスカートが長目になり、自轉車に乘るのに便利なやうに前を二部に分けて、上着はパリの娘です（寫眞は最新流行の七ツ道具）

あすからの連載漫畫

横井福次郎作

胃酸過多 胃潰瘍に

新研究の本格的治療法！

B.902

ビオ・トモサンとは從來の制酸劑、鎭痛劑等と異り、强力なる被覆制酸吸着劑を主劑とし一劑にて胃酸過多、胃潰瘍の病源を治療するを特長とす。すなはちその作用は……

一、胃酸過多、胃潰瘍の病源たる胃粘膜のカタル、糜爛、潰瘍面を被覆して異物の刺戟をさへぎりこれを健康粘膜に回復せしめ……

二、同時に胃の分泌腺に收斂的に作用して酸の分泌を正常化し、さらに胃酸過多、胃潰瘍に最も害多き、胃中の過剩酸及び腐敗醗酵物を吸收す。

故に胃酸過多、胃潰瘍の患者にビオ・トモサンを服用せしめれば、よく病源を治療して胸焦、呑酸、胃痛等の症狀を速やかに消退せしむるのみか、その快癒を本格的に促進するのが本劑の最大特長である

因みにビオ・トモサンは、發賣早々、すでに帝國大學病院を始め、著名の胃腸病院にて賞用されつゝある。

製法特許
服用容易！
價格低廉！

九〇錠入（約十日分）七〇錢
二七〇錠入（約一ヶ月一寸）一圓五〇錢
八〇〇錠入　三圓七〇錢
外に粉末あり

◇ビオ・トモサンは各地の藥店にあり。もし品切れの節は直接發賣元へ御申込下さい。代金引換にて御發送致します。

（前金御拂込の場合は送料不要）
（郵券代用は一割增）

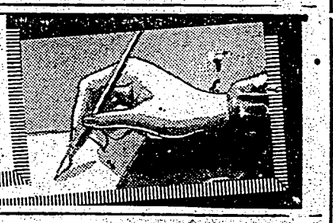
東京市日本橋區本町三ノ一
發賣元　友田合資會社
電話日本橋（24）一六〇、一六一番
振替口座・東京一九三八

ソサエテ

キントラプ

！的濟經的率能
路一上向に擧勉に務事
キンイ良純るす束約を

P17



チセプタール
二基スルフオンアミド劑　最高規格品
錠

DISEPTAL = 4-(4-Aminobenzolsulfonamido)-benzolsulfondimethylamid

製造發賣元　東京・池袋一丁目　中外新藥商會　代理店　東京　小西新兵衛商店・大阪　安原喜三郎商店

（〇〇・五一）廿百（〇五・三）廿〇二
賣面店貨百●店專法一掲全
（心要振接直は節の切品
込券へ八六六八大京東
●ムケを文註御上の）

す期を滅殲的底徹の菌諸下記はルータプセチ

淋菌
連鎖狀球菌
大腸菌
葡萄狀球菌
肺炎菌

膿から全反りと膿はれる内臟・敗血症・歯齦炎・中耳炎・扁桃腺炎・痛疔・子宮周圍炎・淋巴腺炎・膀胱炎・尿道炎・腸炎・敗血症等を起す菌。

「チセプタール」錠を一回二錠づつ内服すれば、病菌は體内に死滅、恢復に向ふといふ驚異的實驗が完成された。

腸炎・氣管支炎・中耳炎等を起す菌。――「チセプタール」錠はこの菌にも驚異され其の成效を推奨された！

一般に淋病と膿はれ、人知れず苦痛のもとなつて居る女性疾患が、淋腺などでなく、この菌から生ずる事が多い。其他腸炎・中耳炎・肝膿炎・扁桃腺等を起す菌。

「チセプタール」錠は神速適易にこの病菌をも撲滅せしめろから敗血症としても、腎炎に進んだ疾患にも推奨されて居る。

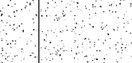
呈　醫博士の治！實驗報告を發賣元より發表す

滅菌！殺菌！消菌！
敗血症に即效

急性、慢性の淋疾及び女性淋疾腫症を起す最强の菌。――それを家庭内で簡單に內服するのみで完全に治癒出來る、スピード療法が發見された。而も副作用なく體內の隅部に於ける菌の繁殖を防すのである。

二日間內服すれば、止痛・止膿・膿腫消退に至る臨床例が多い。

チセプタールこそは全醫藥界に稀有されつゝある國際的高級特品である。

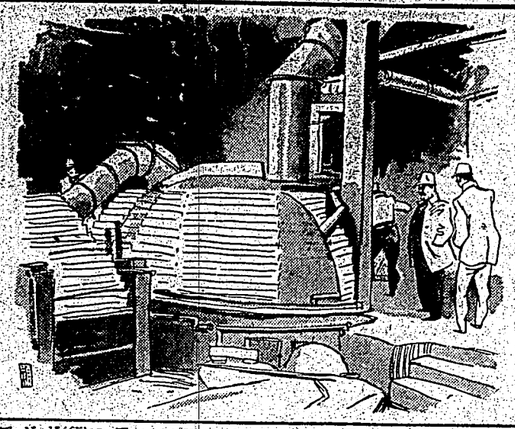


馬に乘る猿

(63)

石川達三作

伊東顯畫



太陽光學（四）

太陽光學會社の富川工場では、望遠鏡にはじめて火を入れた日であつた。

工場長朝見榮太郎の指圖に從つて朝はやく火がつけられると、赤い火の舌が勢ひよう〳〵と天井にうつり、この工場が急に生き〴〵してきたやうであつた。

竹下職工はみづから作業服を着て職工の中に立つてゐた。爐の熱氣に彼の顏はげの手をかなし、額がぴり〳〵と痛んだ。爐の中の溫度が徐々にあがつて來る。彼は煙草を手ふかれて火の色に見入つてゐた。

「社長、見物ですね」

井野社員がそばからいふころ彼の傍へ來てさゝやいた。

「どこからですか」

「專門らしいですね」

職長をかねがねて社會部へはいると受附嬢を取つた。

「わたくしみさをです」

「あ、何ダ」

「さうき、うれました」

「うまれたか。うむ、安産でよう か。女か。それはよかつた」

「あの、今日こちらへお帶りになりますか？」

「あゝかんな。今日はな、工場ではじめて火を入れたところだで、工場の方へ泊るでな、あすの晩になつたら行けるだら」

「さうですか」

「ふゝ子になア、元氣を出して產生しろと言つておくれ、それでえゝ」

電話をきると再び職長をかけ出して爐のまへに立つた。朝見技師がそつと寄つてきた。

「もう爐解がはじまります」

光學硝子の製造の最も困難なところはこれからであつた。微妙な溫度の調節、配合その他の原料を祝入する時期のむづかしさ、その分析、次には熔解を攪拌する作業である。職長の指揮でゆるやかに火をまし、坩堝の中の硝子は次第に熔けて一面の眞赤になつた。

「あゝ、何ダ」

「あゝかんな。今日はな、工場ではじめて火を入れたところだで、工場の方へ泊るでな、あすの晩になつたら行けるだら」

「さうですか」

「ふゝ子になア、元氣を出して產生しろと言つておくれ、それでえゝ」

電話をきると再び職長をかけ出して爐のまへに立つた。朝見技師がそつと寄つてきた。

「もう爐解がはじまります」

光學硝子の製造の最も困難なところはこれからであつた。微妙な溫度の調節、配合その他の原料を祝入する時期のむづかしさ、その分析、次には熔解を攪拌する作業である。職長の指揮でゆるやかに火をまし、坩堝の中の硝子は次第に熔けて一面の眞赤になつた。

「あゝ、何ダ」

「あゝかんな。今日はな、工場ではじめて火を入れたところだで、工場の方へ泊るでな、あすの晩になつたら行けるだら」

「さうですか」

「ふゝ子になア、元氣を出して產生しろと言つておくれ、それでえゝ」

電話をきると再び職長をかけ出して爐のまへに立つた。朝見技師がそつと寄つてきた。

「もう爐解がはじまります」

光學硝子の製造の最も困難なところはこれからであつた。微妙な溫度の調節、配合その他の原料を祝入する時期のむづかしさ、その分析、次には熔解を攪拌する作業である。職長の指揮でゆるやかに火をまし、坩堝の中の硝子は次第に熔けて一面の眞赤になつた。失敗すれば一年を棒、たちまちにして千貳百圓からの損失になつてしまふ。職長一切つた二時、赤い火の舌が生きものゝやうにめらめらと是

利用して自動車の運轉を思ひ付いた。工場會社のタイピストに感染の化粧品のサンドウキッチマンとなつたが、敎養百パーセントの手紙を見ては、日本の都會への憧れに燃えてゐるが、逆に旅費を工面して都會の東京へと出發した。所が東京驛前線の汽車の中で切符を紛失してしまひ、驛員で下ろされてしまつた。地圖を見ると東京驛前間は二千程しかない。計は無いからと一人は歩き出したが一日中歩いても此の三分の距離は少しも縮まつてゐなかつた。程度の熱にうなされてゐるやうな夢想。見れば何と、業腹らしく綿服な滿洲姑娘が眼鏡の眼に追はれて來るではないか。蓑を見てせざるは勇なきなりとはお國の諺。隙、來兩手を出して面鏡に眞向から立向つたものである。だがそれは戰爭の場合の大陸ものロケたつたので、折角のカットを滅茶苦茶にしてしまひ二人は吐り飛ばされた。蓑と監督はふと思ひ付いて此の二人の本物の滿洲人を眞鏡のエキストラに參加させ、その爲、眞に迫つたシーンを撮影出來、そのお禮に二人をロケーションバスに乘せて東京迄運んでくれた。東京の隅田に投げ出された二人は、王僧侶の讀經を頼りに探して歩いたが、地理と言葉の判らぬ上は徒勞で昼擔げた所から思ひ付き、サンドウキッチマンと同じ様に「滿人問題」と書いた札を胸に吊下げて歩き廻つた。此の珍風體は物見高い都會人の話題を攫はし、新聞に迄載るやうになつた。之に眼を付けたのが

（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十五年一月三十一日（水曜日）　臺灣日日新報　第一万四千三百二十五號　A　（一）

臺灣日日新報

日本唯夕刊共二十頁
發行兼編輯人　木々佐
印刷所　臺灣日日新報社印刷部
臺北市表町二丁目一番地
電話代表五八〇二番　編輯部直通五八〇三番　印刷部直通五八〇四番
定價　本島一部六錢　月額四圓八十錢　前金壹圓九拾錢　三月分前金壹圓七拾錢
廣告料　普通欄一行十五字壹圓　同追加一行同貳圓　特別欄一行同五拾圓
振替口座臺北一〇番　臺銀二番
本社　臺北市表町二丁目一番地　電話代表五八〇二番　編輯部直通五八〇三番　印刷部直通五八〇四番
支社　臺中市末廣町一丁目一番地　電話代表一二〇五番
支社　高雄市新濱町一番地　電話代表一二〇六番

獨人返還は絶對必要
有田外相斷乎主張す
昨夜第二次日英會談

【東京二十日發同盟】有田クレーギー第二次會談終了後二十日午後七時三十分外務省より左の如く情報部長談を發表した

【情報部長談】一月三十日クレーギー英國大使は有田外務大臣に再會を求め午後四時同大臣を官邸に來訪、六時三十分まで會談したが同大使は本國政府の訓令に基いて幾間丸問題を凡ゆる角度から討議する所があつた、有田大臣は更に討議は明日も續行される筈である、尚去る二十七日同大使が齎した英國側の公文は直ぐには發表しないことゝなつた、一方日本政府の右に對する回答公文は機を逸せず交付される筈である

英政府の回訓到着

【東京二十日發同盟】幾間丸單使に對する英國政府の回訓は二十日午後到着したので クレーギー大使は直ちに有田外相に會見を申込んで來たが この席果二十日午後四時より外相官邸において第二次有田クレーギー會談が行はれ去る二十七日の第一次會談に引續き折衝に入つた

【東京二十日發同盟】幾間丸單使に關するクレーギー大使の會談に關し有田外相と申務當局に於ては英國政府の根本態度を變更せしめてゐるが一方クレーギー大使は有田外相との第一次會見の結果並に日本側の意向を報告回訓を求めてをり有田外相も幾間丸單使に對する回訓を使つて 卅一日中に

一、抑留ドイツ人の引渡し
一、將來の保障の二點の解決を最目として來たものであるがイギリス側ではロンドン會議に依る法的見解をもつて回答を避けて

一、抑留ドイツ人の引渡しに應じ難いこと
一、將來の保障は協議の用意があるが國際法上の見解は曲げることは出來ない

【東京二十日發同盟】幾間丸單使に關するクレーギー大使の會談に關し有田外相と申務當局に於ては英國政府の根本態度を變更せしめてゐるが一方クレーギー大使は有田外相との第一次會見の結果並に日本側の意向を報告回訓を求めてをり有田外相も幾間丸單使に對する回答を使つて 卅一日中に

一、抑留ドイツ人の引渡し
一、將來の保障の二點の解決を最目として來たものであるがイギリス側ではロンドン會議に依る法的見解をもつて回答を避けて

一、抑留ドイツ人の引渡しに應じ難いこと
一、將來の保障は協議の用意があるが國際法上の見解は曲げることは出來ない

【東京二十日發同盟】幾間丸單使に對する英國政府の回訓は二十日午後到着したのでクレーギー大使は直ちに有田外相に會見を申込んで來たが この席果二十日午後四時より外相官邸において第二次有田クレーギー會談が行はれ去る二十七日の第一次會談に引續き折衝に入つた

【東京二十日發同盟】幾間丸單使に關するクレーギー大使の會談に關し有田外相と申務當局に於ては英國政府の根本態度を變更せしめてゐるが一方クレーギー大使は有田外相との第一次會見の結果並に日本側の意向を報告回訓を求めてをり有田外相も幾間丸單使に對する回答を使つて 卅一日中に

一、抑留ドイツ人の引渡し
一、將來の保障の二點の解決を最目として來たものであるがイギリス側ではロンドン會議に依る法的見解をもつて回答を避けて

一、抑留ドイツ人の引渡しに應じ難いこと
一、將來の保障は協議の用意があるが國際法上の見解は曲げることは出來ない

憲政實施へ
褚民誼氏の報告演說

【東京二十日發同盟】二十九日の故宮午餐會に引續き同會中央會議室に於ては午後一時より汪兆銘氏の代理として來朝した褚民誼氏の憲政實施に關する報告演說があつた

英國大使
有田外相訪問

【東京二十日發同盟】スメタニン駐日獨大使は二十日午後一時三十五分外務省に有田外相を訪問 懇談の上同大使は二十五分辭去した

拓務關係議員
を拓相招待

【東京二十日發同盟】小磯拓相は二十日午後六時拓相官邸に拓務關係議員を招待した

芬機七機を擊墜
ソ軍管區司令部發表

【モスクワ二十九日發同盟】レニングラード軍管區司令部發表 二十九日は各戰線とも平穩であつたがソ聯空軍は偵察飛行を敢行して敵陣七機を擊墜した

芬蘭南部地帶
ソ聯空軍猛爆

【ニューヨーク二十九日發特約電報】ヘルシンキ來電、ソ聯空軍は二十九日芬の南部地方一帶に猛烈な爆撃を敢行、その為め百名以上の死者を出しその中には二十三名の婦人や幼子が含まれてゐる

芬蘭に反戰機運
ソ聯に反戰機運

【ニューヨーク二十九日發特約電報】コペンハーゲンからの情報に依れば ソ芬戰爭以來ソ聯內の各地に於ては對芬戰爭を批判する機運が擡頭しつゝあると傳へられてゐるのである

滿洲國皇帝陛下の
御訪日は新綠の頃
鹿兒島宮內府次長の謹話

【東京二十日發同盟】滿洲國皇帝陛下の御訪日打合せのため來朝中であつた同國內閣兼宮內府次長は二十日午時半出發の關釜連絡船で無事歸國したが 皇帝御訪日に關し左の如く謹話した

【東京二十日發同盟】米內首相は二十日午後二時宮中に參內 天皇陛下に謁見仰付られ來る日の滿洲國皇帝陛下御訪日の件に關し御說明を申上げた

【東京二十日發同盟】關西の電力危機は益々加重して來たので歷住以來前後の發動を以つて應じてゐる關西各府縣の發動力は既に限度に達し 殊に最近の渴水の影響を受けて發電力は著しく減退し 從つて關西各府縣の電力危機は愈々深刻化したので 內閣は二十日午後四時より首相官邸に關係閣僚會議を開催 電力調整令發動の件に關し協議を遂げた

電力調整令發動か
遞相官邸で重要省議

【東京二十日發同盟】關西の電力危機は益々加重して來たので歷住以來前後の發動を以つて應じてゐる關西各府縣の發動力は既に限度に達し 殊に最近の渴水の影響を受けて發電力は著しく減退し 從つて關西各府縣の電力危機は愈々深刻化したので 內閣は二十日午後四時より首相官邸に關係閣僚會議を開催 電力調整令發動の件に關し協議を遂げた

【東京二十日發同盟】關西の電力危機は益々加重して來たので歷住以來前後の發動を以つて應じてゐる關西各府縣の發動力は既に限度に達し 殊に最近の渴水の影響を受けて發電力は著しく減退し 從つて關西各府縣の電力危機は愈々深刻化したので 內閣は二十日午後四時より首相官邸に關係閣僚會議を開催 電力調整令發動の件に關し協議を遂げた

遺憾・石炭問題の流說
指導方針確立を陸海兩相要望

【東京二十日發同盟】閣相並に吉田商相は二十日の定例閣議後陸上石炭統制及び石炭不足問題に言及し重要なる發言が行はれたるこゝとは既に報じたる通りであるが 左の如く政府の根本的なる重要方針

社說

州勢發展への一關心高まる
第一州北の振興も問題化

一

南州を殿りとして台州の發展を主唱とする通州會は終了を見るのであるが、最早の現狀を通じて州治の大勢や州勢見下各州首脳部が發展に盛つた抱負觀見の程が窺はれて頗る興味が多い。しかし前會の人事大異動に依て、臺北、臺南、臺中の諸州などは、都市者の絡んだ發展を大體に踏襲する外ない事情であつたが、兎に角纏まれた各州發展にはそれ〳〵州の國性や國際者の性格が加味されて居り、檢討上特殊の興味を與つてゐるのは事實である。全島各市の市會も二月中には夫々開かれる筈であるが、市發展に就て發表された抱負は全く同じである。

二

臺北州の川村知事は、新興各々市公會並に於ける州民の歡迎會に於て、"臺北州勢は國テンカチの屁發展である"と闡破したが全く其の通りである。なる程通信網は鐵道網の如く發達せず、又港灣を含み、感容量々として如何にも通暢の國であり、それも相俟にテンカイのであるから、一度び州勢を考へる時に、州下の市街地が割合に發展して、他の中南部諸州の如くに畜業を基礎として居り、檢討上特殊の興味を與つてゐるのは事實である。全島各市の市會も二月中には夫々開かれる筈であるが、市發展に就て發表された抱負は全く同じである。

二

臺北州の川村知事は、新興各々市公會並に於ける州民の歡迎會に於て、"臺北州勢は國テンカチの屁發展である"と闡破したが全く其の通りである。なる程通信網は鐵道網の如く發達せず各地方の特殊性を包容する通信網

島内銀行預金高
二億二千萬臺へ突破
貸出殘は三億六千萬圓

昨年末實績

自銀調査、昭和十四年十二月末に於ける島内各銀行報告實績並びに之れによる新規資金需要次の如し

	臺銀	勸銀	興農銀行	貯蓄銀行	金庫	計
昭和十四年十二月末	三三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五
前年同月末	二四、〇五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五
前年同月比較増加率	三三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五
十二年六月末	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五
十二年六月末平均	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五
均増加率	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五
	貸	銀	勸	銀	出	金	計
昭和十四年十二月末	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五
前年同月末	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五
前年同月比較増加率	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五
十二年六月末	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五
前年同月末	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五
前年同月比較増加率	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五
十二年六月末平均	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五
均増加率	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五

	臺銀	勸銀	興農銀行	貯蓄銀行	金庫	計
昭和十四年十二月末	三三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五
前年同月末	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五
前年同月比較増加率	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五
十二年六月末	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五
前年同月末	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五
前年同月比較増加率	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五
十二年六月末平均	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五	三、三五
均増加率

激流 (90)

久生十蘭作
伊勢良夫畫

（第十回）

即興曲（八）

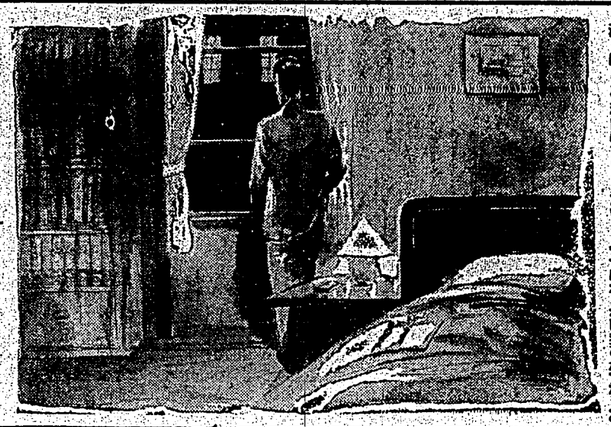
冬彦は、眞波と母子の二人で毎日二時間ずつ聞くまでお喋舌をして一時近くに二人におやすみを言って自分の隣の寢室へ歸って來た。會話の係員といったやうなものが殘ってゐるが、すぐ寢つけさうもないので、本棚から讀書目に本を引拔いて讀み出したが、頭番してゐるくせに頭の芯が疲れてゐて、本の字面が讀んで、すこしも頭に入ってこなかった。

隣に向いた壁から、木魚の振越しに世間の晝間の一歌の窓の列が見える。

眞波も寢ついもまだ眠らないと見えて、隣合りた二つの窓に明々と灯影が映ってゐる。

冬彦は、本を膝に置いて、それを伊やり眺めてゐるうちに、どうしたわけか、何の關係もなしに、突然、眼から淚が流れ出してきた。泣くほどの理由はさこしもないのに、悲しいわけでも切なくやるせないのに、淚が無手に流れ出してきて、頬を傳って膝のところまでゆき、それから音を立てて本の上に滴り落ちる。

冬彦は、しばらくの間、淚が流れ出してゐるままにさせて置いたが、うしてゐるまにさせて置いたが、何となく愉しいやうな氣持さへする。



の隣の中に、あのままもう少し眞波と向き合って坐ってゐたらさ多少みつともないことを仕出かしてゐたに相違ない。

食堂へ移って、母子や眞波と快活な會話をしながら、冬彦は、自分の仕業だとも思はれない下劣な揚ひと惨憺と恥辱の感情で反省しつづけてゐた。

この時突然の銃聲が何から發を起

ラヂオ

【九・一〇】朝の擧操、ラヂオ體操
【七・二〇】朝の修養（東京）水戸學派の基礎的研究（二）高須芳次郎
【七・五〇】朝の音樂レコード
ピアノ獨奏（メリーウイドウワルツ）ハーベル作曲アドルフ・ダオルフ、ブコーディオン獨奏（ジプシー・ダンス）ヘルマン作曲ヘルマン・ツァテルヘルム
【八・〇〇】ニュース
【八・一〇】農業相世界大戰勃發（第三十講）（大東北）世界大戰誌にかける計畫與問題・主講乃木希典
【九・三五】內閣總理大臣官邸午餐會
【九・四五】英國皇太子殿下御誕生日祝賀會（東京）
【一〇・〇〇】朝の挨拶、ラヂオ體操
【一〇・二〇】ラヂオ體操
【一〇・三〇】ニュース
【一〇・四〇】ニュース
【一〇・五〇】ニュース
【一一・〇〇】ニュース
【一一・一〇】ニュース
【一一・二〇】ニュース
【一一・三〇】ニュース
【一一・四〇】ニュース
【一一・五〇】ニュース
【一二・〇〇】ニュース
【一二・一〇】ニュース
【一二・二〇】ニュース
【一二・三〇】ニュース
【一二・四〇】ニュース
【一二・五〇】ニュース
【一三・〇〇】ニュース
【一三・一〇】ニュース
【一三・二〇】ニュース
【一三・三〇】ニュース
【一三・四〇】ニュース
【一三・五〇】ニュース
【一四・〇〇】ニュース
【一四・一〇】ニュース
【一四・二〇】ニュース
【一四・三〇】ニュース
【一四・四〇】ニュース
【一四・五〇】ニュース
【一五・〇〇】ニュース
【一五・一〇】ニュース
【一五・二〇】ニュース
【一五・三〇】ニュース
【一五・四〇】ニュース
【一五・五〇】ニュース
【一六・〇〇】ニュース
【一六・一〇】ニュース
【一六・二〇】ニュース
【一六・三〇】ニュース
【一六・四〇】ニュース
【一六・五〇】ニュース
【一七・〇〇】ニュース
【一七・一〇】ニュース
【一七・二〇】ニュース
【一七・三〇】ニュース
【一七・四〇】ニュース
【一七・五〇】ニュース
【一八・〇〇】ニュース
【一八・一〇】ニュース
【一八・二〇】ニュース
【一八・三〇】ニュース
【一八・四〇】ニュース
【一八・五〇】ニュース
【一九・〇〇】ニュース
【一九・一〇】ニュース
【一九・二〇】ニュース
【一九・三〇】ニュース
【一九・四〇】ニュース
【一九・五〇】ニュース
【二〇・〇〇】ニュース
【二〇・一〇】ニュース
【二〇・二〇】ニュース
【二〇・三〇】ニュース
【二〇・四〇】ニュース
【二〇・五〇】ニュース
【二一・〇〇】ニュース
【二一・一〇】ニュース
【二一・二〇】ニュース
【二一・三〇】ニュース
【二一・四〇】ニュース
【二一・五〇】ニュース
【二二・〇〇】ニュース
【二二・一〇】ニュース
【二二・二〇】ニュース
【二二・三〇】ニュース
【二二・四〇】ニュース
【二二・五〇】ニュース
【二三・〇〇】ニュース
【二三・一〇】ニュース
【二三・二〇】ニュース
【二三・三〇】ニュース
【二三・四〇】ニュース
【二三・五〇】ニュース
【二四・〇〇】ニュース
【二四・一〇】ニュース
【二四・二〇】ニュース
【二四・三〇】ニュース
【二四・四〇】ニュース
【二四・五〇】ニュース
【二五・〇〇】ニュース
【二五・一〇】ニュース
【二五・二〇】ニュース
【二五・三〇】ニュース
【二五・四〇】ニュース
【二五・五〇】ニュース
【二六・〇〇】ニュース
【二六・一〇】ニュース
【二六・二〇】ニュース
【二六・三〇】ニュース
【二六・四〇】ニュース
【二六・五〇】ニュース
【二七・〇〇】ニュース
【二七・一〇】ニュース
【二七・二〇】ニュース
【二七・三〇】ニュース
【二七・四〇】ニュース
【二七・五〇】ニュース
【二八・〇〇】ニュース
【二八・一〇】ニュース
【二八・二〇】ニュース
【二八・三〇】ニュース
【二八・四〇】ニュース
【二八・五〇】ニュース
【二九・〇〇】ニュース
【二九・一〇】ニュース
【二九・二〇】ニュース
【二九・三〇】ニュース
【二九・四〇】ニュース
【二九・五〇】ニュース
【三〇・〇〇】ニュース
【三〇・一〇】ニュース
【三〇・二〇】ニュース
【三〇・三〇】ニュース
【三〇・四〇】ニュース
【三〇・五〇】ニュース
【三一・〇〇】ニュース
【三一・一〇】ニュース
【三一・二〇】ニュース
【三一・三〇】ニュース
【三一・四〇】ニュース
【三一・五〇】ニュース
【三二・〇〇】ニュース
【三二・一〇】ニュース
【三二・二〇】ニュース
【三二・三〇】ニュース
【三二・四〇】ニュース
【三二・五〇】ニュース
【三三・〇〇】ニュース
【三三・一〇】ニュース
【三三・二〇】ニュース
【三三・三〇】ニュース
【三三・四〇】ニュース
【三三・五〇】ニュース
【三四・〇〇】ニュース
【三四・一〇】ニュース
【三四・二〇】ニュース
【三四・三〇】ニュース
【三四・四〇】ニュース
【三四・五〇】ニュース
【三五・〇〇】ニュース
【三五・一〇】ニュース
【三五・二〇】ニュース
【三五・三〇】ニュース
【三五・四〇】ニュース
【三五・五〇】ニュース
【三六・〇〇】ニュース
【三六・一〇】ニュース
【三六・二〇】ニュース
【三六・三〇】ニュース
【三六・四〇】ニュース
【三六・五〇】ニュース
【三七・〇〇】ニュース
【三七・一〇】ニュース
【三七・二〇】ニュース
【三七・三〇】ニュース
【三七・四〇】ニュース
【三七・五〇】ニュース
【三八・〇〇】ニュース
【三八・一〇】ニュース
【三八・二〇】ニュース
【三八・三〇】ニュース
【三八・四〇】ニュース
【三八・五〇】ニュース
【三九・〇〇】ニュース
【三九・一〇】ニュース
【三九・二〇】ニュース
【三九・三〇】ニュース
【三九・四〇】ニュース
【三九・五〇】ニュース
【四〇・〇〇】ニュース
【四〇・一〇】ニュース
【四〇・二〇】ニュース
【四〇・三〇】ニュース
【四〇・四〇】ニュース
【四〇・五〇】ニュース
【四一・〇〇】ニュース
【四一・一〇】ニュース
【四一・二〇】ニュース
【四一・三〇】ニュース
【四一・四〇】ニュース
【四一・五〇】ニュース
【四二・〇〇】ニュース
【四二・一〇】ニュース
【四二・二〇】ニュース
【四二・三〇】ニュース
【四二・四〇】ニュース
【四二・五〇】ニュース
【四三・〇〇】ニュース
【四三・一〇】ニュース
【四三・二〇】ニュース
【四三・三〇】ニュース
【四三・四〇】ニュース
【四三・五〇】ニュース
【四四・〇〇】ニュース
【四四・一〇】ニュース
【四四・二〇】ニュース
【四四・三〇】ニュース
【四四・四〇】ニュース
【四四・五〇】ニュース
【四五・〇〇】ニュース
【四五・一〇】ニュース
【四五・二〇】ニュース
【四五・三〇】ニュース
【四五・四〇】ニュース
【四五・五〇】ニュース
【四六・〇〇】ニュース
【四六・一〇】ニュース
【四六・二〇】ニュース
【四六・三〇】ニュース
【四六・四〇】ニュース
【四六・五〇】ニュース
【四七・〇〇】ニュース
【四七・一〇】ニュース
【四七・二〇】ニュース
【四七・三〇】ニュース
【四七・四〇】ニュース
【四七・五〇】ニュース
【四八・〇〇】ニュース
【四八・一〇】ニュース
【四八・二〇】ニュース
【四八・三〇】ニュース
【四八・四〇】ニュース
【四八・五〇】ニュース
【四九・〇〇】ニュース
【四九・一〇】ニュース
【四九・二〇】ニュース
【四九・三〇】ニュース
【四九・四〇】ニュース
【四九・五〇】ニュース
【五〇・〇〇】ニュース
【五〇・一〇】ニュース
【五〇・二〇】ニュース
【五〇・三〇】ニュース
【五〇・四〇】ニュース
【五〇・五〇】ニュース
【五一・〇〇】ニュース
【五一・一〇】ニュース
【五一・二〇】ニュース
【五一・三〇】ニュース
【五一・四〇】ニュース
【五一・五〇】ニュース
【五二・〇〇】ニュース
【五二・一〇】ニュース
【五二・二〇】ニュース
【五二・三〇】ニュース
【五二・四〇】ニュース
【五二・五〇】ニュース
【五三・〇〇】ニュース
【五三・一〇】ニュース
【五三・二〇】ニュース
【五三・三〇】ニュース
【五三・四〇】ニュース
【五三・五〇】ニュース
【五四・〇〇】ニュース
【五四・一〇】ニュース
【五四・二〇】ニュース
【五四・三〇】ニュース
【五四・四〇】ニュース
【五四・五〇】ニュース
【五五・〇〇】ニュース
【五五・一〇】ニュース
【五五・二〇】ニュース
【五五・三〇】ニュース
【五五・四〇】ニュース
【五五・五〇】ニュース
【五六・〇〇】ニュース
【五六・一〇】ニュース
【五六・二〇】ニュース
【五六・三〇】ニュース
【五六・四〇】ニュース
【五六・五〇】ニュース
【五七・〇〇】ニュース
【五七・一〇】ニュース
【五七・二〇】ニュース
【五七・三〇】ニュース
【五七・四〇】ニュース
【五七・五〇】ニュース
【五八・〇〇】ニュース
【五八・一〇】ニュース
【五八・二〇】ニュース
【五八・三〇】ニュース
【五八・四〇】ニュース
【五八・五〇】ニュース
【五九・〇〇】ニュース
【五九・一〇】ニュース
【五九・二〇】ニュース
【五九・三〇】ニュース
【五九・四〇】ニュース
【五九・五〇】ニュース
【六〇・〇〇】ニュース
【六〇・一〇】ニュース
【六〇・二〇】ニュース
【六〇・三〇】ニュース
【六〇・四〇】ニュース
【六〇・五〇】ニュース
【六一・〇〇】ニュース
【六一・一〇】ニュース
【六一・二〇】ニュース
【六一・三〇】ニュース
【六一・四〇】ニュース
【六一・五〇】ニュース
【六二・〇〇】ニュース
【六二・一〇】ニュース
【六二・二〇】ニュース
【六二・三〇】ニュース
【六二・四〇】ニュース
【六二・五〇】ニュース
【六三・〇〇】ニュース
【六三・一〇】ニュース
【六三・二〇】ニュース
【六三・三〇】ニュース
【六三・四〇】ニュース
【六三・五〇】ニュース
【六四・〇〇】ニュース
【六四・一〇】ニュース
【六四・二〇】ニュース
【六四・三〇】ニュース
【六四・四〇】ニュース
【六四・五〇】ニュース
【六五・〇〇】ニュース
【六五・一〇】ニュース
【六五・二〇】ニュース
【六五・三〇】ニュース
【六五・四〇】ニュース
【六五・五〇】ニュース
【六六・〇〇】ニュース
【六六・一〇】ニュース
【六六・二〇】ニュース
【六六・三〇】ニュース
【六六・四〇】ニュース
【六六・五〇】ニュース
【六七・〇〇】ニュース
【六七・一〇】ニュース
【六七・二〇】ニュース
【六七・三〇】ニュース
【六七・四〇】ニュース
【六七・五〇】ニュース
【六八・〇〇】ニュース
【六八・一〇】ニュース
【六八・二〇】ニュース
【六八・三〇】ニュース
【六八・四〇】ニュース
【六八・五〇】ニュース
【六九・〇〇】ニュース
【六九・一〇】ニュース
【六九・二〇】ニュース
【六九・三〇】ニュース
【六九・四〇】ニュース
【六九・五〇】ニュース
【七〇・〇〇】ニュース
【七〇・一〇】ニュース
【七〇・二〇】ニュース
【七〇・三〇】ニュース
【七〇・四〇】ニュース
【七〇・五〇】ニュース
【七一・〇〇】ニュース
【七一・一〇】ニュース
【七一・二〇】ニュース
【七一・三〇】ニュース
【七一・四〇】ニュース
【七一・五〇】ニュース
【七二・〇〇】ニュース
【七二・一〇】ニュース
【七二・二〇】ニュース
【七二・三〇】ニュース
【七二・四〇】ニュース
【七二・五〇】ニュース
【七三・〇〇】ニュース
【七三・一〇】ニュース
【七三・二〇】ニュース
【七三・三〇】ニュース
【七三・四〇】ニュース
【七三・五〇】ニュース
【七四・〇〇】ニュース
【七四・一〇】ニュース
【七四・二〇】ニュース
【七四・三〇】ニュース
【七四・四〇】ニュース
【七四・五〇】ニュース
【七五・〇〇】ニュース
【七五・一〇】ニュース
【七五・二〇】ニュース
【七五・三〇】ニュース
【七五・四〇】ニュース
【七五・五〇】ニュース
【七六・〇〇】ニュース
【七六・一〇】ニュース
【七六・二〇】ニュース
【七六・三〇】ニュース
【七六・四〇】ニュース
【七六・五〇】ニュース
【七七・〇〇】ニュース
【七七・一〇】ニュース
【七七・二〇】ニュース
【七七・三〇】ニュース
【七七・四〇】ニュース
【七七・五〇】ニュース
【七八・〇〇】ニュース
【七八・一〇】ニュース
【七八・二〇】ニュース
【七八・三〇】ニュース
【七八・四〇】ニュース
【七八・五〇】ニュース
【七九・〇〇】ニュース
【七九・一〇】ニュース
【七九・二〇】ニュース
【七九・三〇】ニュース
【七九・四〇】ニュース
【七九・五〇】ニュース
【八〇・〇〇】ニュース
【八〇・一〇】ニュース
【八〇・二〇】ニュース
【八〇・三〇】ニュース
【八〇・四〇】ニュース
【八〇・五〇】ニュース
【八一・〇〇】ニュース
【八一・一〇】ニュース
【八一・二〇】ニュース
【八一・三〇】ニュース
【八一・四〇】ニュース
【八一・五〇】ニュース
【八二・〇〇】ニュース
【八二・一〇】ニュース
【八二・二〇】ニュース
【八二・三〇】ニュース
【八二・四〇】ニュース
【八二・五〇】ニュース
【八三・〇〇】ニュース
【八三・一〇】ニュース
【八三・二〇】ニュース
【八三・三〇】ニュース
【八三・四〇】ニュース
【八三・五〇】ニュース
【八四・〇〇】ニュース
【八四・一〇】ニュース
【八四・二〇】ニュース
【八四・三〇】ニュース
【八四・四〇】ニュース
【八四・五〇】ニュース
【八五・〇〇】ニュース
【八五・一〇】ニュース
【八五・二〇】ニュース
【八五・三〇】ニュース
【八五・四〇】ニュース
【八五・五〇】ニュース
【八六・〇〇】ニュース
【八六・一〇】ニュース
【八六・二〇】ニュース
【八六・三〇】ニュース
【八六・四〇】ニュース
【八六・五〇】ニュース
【八七・〇〇】ニュース
【八七・一〇】ニュース
【八七・二〇】ニュース
【八七・三〇】ニュース
【八七・四〇】ニュース
【八七・五〇】ニュース
【八八・〇〇】ニュース
【八八・一〇】ニュース
【八八・二〇】ニュース
【八八・三〇】ニュース
【八八・四〇】ニュース
【八八・五〇】ニュース
【八九・〇〇】ニュース
【八九・一〇】ニュース
【八九・二〇】ニュース
【八九・三〇】ニュース
【八九・四〇】ニュース
【八九・五〇】ニュース
【九〇・〇〇】ニュース
【九〇・一〇】ニュース
【九〇・二〇】ニュース
【九〇・三〇】ニュース
【九〇・四〇】ニュース
【九〇・五〇】ニュース
【九一・〇〇】ニュース
【九一・一〇】ニュース
【九一・二〇】ニュース
【九一・三〇】ニュース
【九一・四〇】ニュース
【九一・五〇】ニュース
【九二・〇〇】ニュース
【九二・一〇】ニュース
【九二・二〇】ニュース
【九二・三〇】ニュース
【九二・四〇】ニュース
【九二・五〇】ニュース
【九三・〇〇】ニュース
【九三・一〇】ニュース
【九三・二〇】ニュース
【九三・三〇】ニュース
【九三・四〇】ニュース
【九三・五〇】ニュース
【九四・〇〇】ニュース
【九四・一〇】ニュース
【九四・二〇】ニュース
【九四・三〇】ニュース
【九四・四〇】ニュース
【九四・五〇】ニュース
【九五・〇〇】ニュース
【九五・一〇】ニュース
【九五・二〇】ニュース
【九五・三〇】ニュース
【九五・四〇】ニュース
【九五・五〇】ニュース
【九六・〇〇】ニュース
【九六・一〇】ニュース
【九六・二〇】ニュース
【九六・三〇】ニュース
【九六・四〇】ニュース
【九六・五〇】ニュース
【九七・〇〇】ニュース
【九七・一〇】ニュース
【九七・二〇】ニュース
【九七・三〇】ニュース
【九七・四〇】ニュース
【九七・五〇】ニュース
【九八・〇〇】ニュース
【九八・一〇】ニュース
【九八・二〇】ニュース
【九八・三〇】ニュース
【九八・四〇】ニュース
【九八・五〇】ニュース
【九九・〇〇】ニュース
【九九・一〇】ニュース
【九九・二〇】ニュース
【九九・三〇】ニュース
【九九・四〇】ニュース
【九九・五〇】ニュース
【一〇〇・〇〇】ニュース
【一〇〇・一〇】ニュース
【一〇〇・二〇】ニュース
【一〇〇・三〇】ニュース
【一〇〇・四〇】ニュース
【一〇〇・五〇】ニュース
【一〇一・〇〇】ニュース
【一〇一・一〇】ニュース
【一〇一・二〇】ニュース
【一〇一・三〇】ニュース
【一〇一・四〇】ニュース
【一〇一・五〇】ニュース
【一〇二・〇〇】ニュース
【一〇二・一〇】ニュース
【一〇二・二〇】ニュース
【一〇二・三〇】ニュース
【一〇二・四〇】ニュース
【一〇二・五〇】ニュース
【一〇三・〇〇】ニュース
【一〇三・一〇】ニュース
【一〇三・二〇】ニュース
【一〇三・三〇】ニュース
【一〇三・四〇】ニュース
【一〇三・五〇】ニュース
【一〇四・〇〇】ニュース
【一〇四・一〇】ニュース
【一〇四・二〇】ニュース
【一〇四・三〇】ニュース
【一〇四・四〇】ニュース
【一〇四・五〇】ニュース
【一〇五・〇〇】ニュース
【一〇五・一〇】ニュース
【一〇五・二〇】ニュース
【一〇五・三〇】ニュース
【一〇五・四〇】ニュース
【一〇五・五〇】ニュース
【一〇六・〇〇】ニュース
【一〇六・一〇】ニュース
【一〇六・二〇】ニュース
【一〇六・三〇】ニュース
【一〇六・四〇】ニュース
【一〇六・五〇】ニュース
【一〇七・〇〇】ニュース
【一〇七・一〇】ニュース
【一〇七・二〇】ニュース
【一〇七・三〇】ニュース
【一〇七・四〇】ニュース
【一〇七・五〇】ニュース
【一〇八・〇〇】ニュース
【一〇八・一〇】ニュース
【一〇八・二〇】ニュース
【一〇八・三〇】ニュース
【一〇八・四〇】ニュース
【一〇八・五〇】ニュース
【一〇九・〇〇】ニュース
【一〇九・一〇】ニュース
【一〇九・二〇】ニュース
【一〇九・三〇】ニュース
【一〇九・四〇】ニュース
【一〇九・五〇】ニュース
【一一〇・〇〇】ニュース
【一一〇・一〇】ニュース
【一一〇・二〇】ニュース
【一一〇・三〇】ニュース
【一一〇・四〇】ニュース
【一一〇・五〇】ニュース
【一一一・〇〇】ニュース
【一一一・一〇】ニュース
【一一一・二〇】ニュース
【一一一・三〇】ニュース
【一一一・四〇】ニュース
【一一一・五〇】ニュース
【一一二・〇〇】ニュース
【一一二・一〇】ニュース
【一一二・二〇】ニュース
【一一二・三〇】ニュース
【一一二・四〇】ニュース
【一一二・五〇】ニュース
【一一三・〇〇】ニュース
【一一三・一〇】ニュース
【一一三・二〇】ニュース
【一一三・三〇】ニュース
【一一三・四〇】ニュース
【一一三・五〇】ニュース
【一一四・〇〇】ニュース
【一一四・一〇】ニュース
【一一四・二〇】ニュース
【一一四・三〇】ニュース
【一一四・四〇】ニュース
【一一四・五〇】ニュース
【一一五・〇〇】ニュース
【一一五・一〇】ニュース
【一一五・二〇】ニュース
【一一五・三〇】ニュース
【一一五・四〇】ニュース
【一一五・五〇】ニュース
【一一六・〇〇】ニュース
【一一六・一〇】ニュース
【一一六・二〇】ニュース
【一一六・三〇】ニュース
【一一六・四〇】ニュース
【一一六・五〇】ニュース
【一一七・〇〇】ニュース
【一一七・一〇】ニュース
【一一七・二〇】ニュース
【一一七・三〇】ニュース
【一一七・四〇】ニュース
【一一七・五〇】ニュース
【一一八・〇〇】ニュース
【一一八・一〇】ニュース
【一一八・二〇】ニュース
【一一八・三〇】ニュース
【一一八・四〇】ニュース
【一一八・五〇】ニュース
【一一九・〇〇】ニュース
【一一九・一〇】ニュース
【一一九・二〇】ニュース
【一一九・三〇】ニュース
【一一九・四〇】ニュース
【一一九・五〇】ニュース
【一二〇・〇〇】ニュース
【一二〇・一〇】ニュース
【一二〇・二〇】ニュース
【一二〇・三〇】ニュース
【一二〇・四〇】ニュース
【一二〇・五〇】ニュース
【一二一・〇〇】ニュース
【一二一・一〇】ニュース
【一二一・二〇】ニュース
【一二一・三〇】ニュース
【一二一・四〇】ニュース
【一二一・五〇】ニュース
【一二二・〇〇】ニュース
【一二二・一〇】ニュース
【一二二・二〇】ニュース
【一二二・三〇】ニュース
【一二二・四〇】ニュース
【一二二・五〇】ニュース
【一二三・〇〇】ニュース
【一二三・一〇】ニュース
【一二三・二〇】ニュース
【一二三・三〇】ニュース
【一二三・四〇】ニュース
【一二三・五〇】ニュース
【一二四・〇〇】ニュース
【一二四・一〇】ニュース
【一二四・二〇】ニュース
【一二四・三〇】ニュース
【一二四・四〇】ニュース
【一二四・五〇】ニュース
【一二五・〇〇】ニュース
【一二五・一〇】ニュース
【一二五・二〇】ニュース
【一二五・三〇】ニュース
【一二五・四〇】ニュース
【一二五・五〇】ニュース
【一二六・〇〇】ニュース
【一二六・一〇】ニュース
【一二六・二〇】ニュース
【一二六・三〇】ニュース
【一二六・四〇】ニュース
【一二六・五〇】ニュース
【一二七・〇〇】ニュース
【一二七・一〇】ニュース
【一二七・二〇】ニュース
【一二七・三〇】ニュース
【一二七・四〇】ニュース
【一二七・五〇】ニュース
【一二八・〇〇】ニュース
【一二八・一〇】ニュース
【一二八・二〇】ニュース
【一二八・三〇】ニュース
【一二八・四〇】ニュース
【一二八・五〇】ニュース
【一二九・〇〇】ニュース
【一二九・一〇】ニュース
【一二九・二〇】ニュース
【一二九・三〇】ニュース
【一二九・四〇】ニュース
【一二九・五〇】ニュース
【一三〇・〇〇】ニュース
【一三〇・一〇】ニュース
【一三〇・二〇】ニュース
【一三〇・三〇】ニュース
【一三〇・四〇】ニュース
【一三〇・五〇】ニュース
【一三一・〇〇】ニュース
【一三一・一〇】ニュース
【一三一・二〇】ニュース
【一三一・三〇】ニュース
【一三一・四〇】ニュース
【一三一・五〇】ニュース
【一三二・〇〇】ニュース
【一三二・一〇】ニュース
【一三二・二〇】ニュース
【一三二・三〇】ニュース
【一三二・四〇】ニュース
【一三二・五〇】ニュース
【一三三・〇〇】ニュース
【一三三・一〇】ニュース
【一三三・二〇】ニュース
【一三三・三〇】ニュース
【一三三・四〇】ニュース
【一三三・五〇】ニュース
【一三四・〇〇】ニュース
【一三四・一〇】ニュース
【一三四・二〇】ニュース
【一三四・三〇】ニュース
【一三四・四〇】ニュース
【一三四・五〇】ニュース
【一三五・〇〇】ニュース
【一三五・一〇】ニュース
【一三五・二〇】ニュース
【一三五・三〇】ニュース
【一三五・四〇】ニュース
【一三五・五〇】ニュース
【一三六・〇〇】ニュース
【一三六・一〇】ニュース
【一三六・二〇】ニュース
【一三六・三〇】ニュース
【一三六・四〇】ニュース
【一三六・五〇】ニュース
【一三七・〇〇】ニュース
【一三七・一〇】ニュース
【一三七・二〇】ニュース
【一三七・三〇】ニュース
【一三七・四〇】ニュース
【一三七・五〇】ニュース
【一三八・〇〇】ニュース
【一三八・一〇】ニュース
【一三八・二〇】ニュース
【一三八・三〇】ニュース
【一三八・四〇】ニュース
【一三八・五〇】ニュース
【一三九・〇〇】ニュース
【一三九・一〇】ニュース
【一三九・二〇】ニュース
【一三九・三〇】ニュース
【一三九・四〇】ニュース
【一三九・五〇】ニュース
【一四〇・〇〇】ニュース
【一四〇・一〇】ニュース
【一四〇・二〇】ニュース
【一四〇・三〇】ニュース
【一四〇・四〇】ニュース
【一四〇・五〇】ニュース
【一四一・〇〇】ニュース
【一四一・一〇】ニュース
【一四一・二〇】ニュース
【一四一・三〇】ニュース
【一四一・四〇】ニュース
【一四一・五〇】ニュース
【一四二・〇〇】ニュース
【一四二・一〇】ニュース
【一四二・二〇】ニュース
【一四二・三〇】ニュース
【一四二・四〇】ニュース
【一四二・五〇】ニュース
【一四三・〇〇】ニュース
【一四三・一〇】ニュース
【一四三・二〇】ニュース
【一四三・三〇】ニュース
【一四三・四〇】ニュース
【一四三・五〇】ニュース
【一四四・〇〇】ニュース
【一四四・一〇】ニュース
【一四四・二〇】ニュース
【一四四・三〇】ニュース
【一四四・四〇】ニュース
【一四四・五〇】ニュース
【一四五・〇〇】ニュース
【一四五・一〇】ニュース
【一四五・二〇】ニュース
【一四五・三〇】ニュース
【一四五・四〇】ニュース
【一四五・五〇】ニュース
【一四六・〇〇】ニュース
【一四六・一〇】ニュース
【一四六・二〇】ニュース
【一四六・三〇】ニュース
【一四六・四〇】ニュース
【一四六・五〇】ニュース
【一四七・〇〇】ニュース
【一四七・一〇】ニュース
【一四七・二〇】ニュース
【一四七・三〇】ニュース
【一四七・四〇】ニュース
【一四七・五〇】ニュース
【一四八・〇〇】ニュース
【一四八・一〇】ニュース
【一四八・二〇】ニュース
【一四八・三〇】ニュース
【一四八・四〇】ニュース
【一四八・五〇】ニュース
【一四九・〇〇】ニュース
【一四九・一〇】ニュース
【一四九・二〇】ニュース
【一四九・三〇】ニュース
【一四九・四〇】ニュース
【一四九・五〇】ニュース
【一五〇・〇〇】ニュース
【一五〇・一〇】ニュース
【一五〇・二〇】ニュース
【一五〇・三〇】ニュース
【一五〇・四〇】ニュース
【一五〇・五〇】ニュース
【一五一・〇〇】ニュース
【一五一・一〇】ニュース
【一五一・二〇】ニュース
【一五一・三〇】ニュース
【一五一・四〇】ニュース
【一五一・五〇】ニュース
【一五二・〇〇】ニュース
【一五二・一〇】ニュース
【一五二・二〇】ニュース
【一五二・三〇】ニュース
【一五二・四〇】ニュース
【一五二・五〇】ニュース
【一五三・〇〇】ニュース
【一五三・一〇】ニュース
【一五三・二〇】ニュース
【一五三・三〇】ニュース
【一五三・四〇】ニュース
【一五三・五〇】ニュース
【一五四・〇〇】ニュース
【一五四・一〇】ニュース
【一五四・二〇】ニュース
【一五四・三〇】ニュース
【一五四・四〇】ニュース
【一五四・五〇】ニュース
【一五五・〇〇】ニュース
【一五五・一〇】ニュース
【一五五・二〇】ニュース
【一五五・三〇】ニュース
【一五五・四〇】ニュース
【一五五・五〇】ニュース
【一五六・〇〇】ニュース
【一五六・一〇】ニュース
【一五六・二〇】ニュース
【一五六・三〇】ニュース
【一五六・四〇】ニュース
【一五六・五〇】ニュース
【一五七・〇〇】ニュース
【一五七・一〇】ニュース
【一五七・二〇】ニュース
【一五七・三〇】ニュース
【一五七・四〇】ニュース
【一五七・五〇】ニュース
【一五八・〇〇】ニュース
【一五八・一〇】ニュース
【一五八・二〇】ニュース
【一五八・三〇】ニュース
【一五八・四〇】ニュース
【一五八・五〇】ニュース
【一五九・〇〇】ニュース
【一五九・一〇】ニュース
【一五九・二〇】ニュース
【一五九・三〇】ニュース
【一五九・四〇】ニュース
【一五九・五〇】ニュース
【一六〇・〇〇】ニュース
【一六〇・一〇】ニュース
【一六〇・二〇】ニュース
【一六〇・三〇】ニュース
【一六〇・四〇】ニュース
【一六〇・五〇】ニュース
【一六一・〇〇】ニュース
【一六一・一〇】ニュース
【一六一・二〇】ニュース
【一六一・三〇】ニュース
【一六一・四〇】ニュース
【一六一・五〇】ニュース
【一六二・〇〇】ニュース
【一六二・一〇】ニュース
【一六二・二〇】ニュース
【一六二・三〇】ニュース
【一六二・四〇】ニュース
【一六二・五〇】ニュース
【一六三・〇〇】ニュース
【一六三・一〇】ニュース
【一六三・二〇】ニュース
【一六三・三〇】ニュース
【一六三・四〇】ニュース
【一六三・五〇】ニュース
【一六四・〇〇】ニュース
【一六四・一〇】ニュース
【一六四・二〇】ニュース
【一六四・三〇】ニュース
【一六四・四〇】ニュース
【一六四・五〇】ニュース
【一六五・〇〇】ニュース
【一六五・一〇】ニュース
【一六五・二〇】ニュース
【一六五・三〇】ニュース
【一六五・四〇】ニュース
【一六五・五〇】ニュース
【一六六・〇〇】ニュース
【一六六・一〇】ニュース
【一六六・二〇】ニュース
【一六六・三〇】ニュース
【一六六・四〇】ニュース
【一六六・五〇】ニュース
【一六七・〇〇】ニュース
【一六七・一〇】ニュース
【一六七・二〇】ニュース
【一六七・三〇】ニュース
【一六七・四〇】ニュース
【一六七・五〇】ニュース
【一六八・〇〇】ニュース
【一六八・一〇】ニュース
【一六八・二〇】ニュース
【一六八・三〇】ニュース
【一六八・四〇】ニュース
【一六八・五〇】ニュース
【一六九・〇〇】ニュース
【一六九・一〇】ニュース
【一六九・二〇】ニュース
【一六九・三〇】ニュース
【一六九・四〇】ニュース
【一六九・五〇】ニュース
【一七〇・〇〇】ニュース
【一七〇・一〇】ニュース
【一七〇・二〇】ニュース
【一七〇・三〇】ニュース
【一七〇・四〇】ニュース
【一七〇・五〇】ニュース
【一七一・〇〇】ニュース
【一七一・一〇】ニュース
【一七一・二〇】ニュース
【一七一・三〇】ニュース
【一七一・四〇】ニュース
【一七一・五〇】ニュース
【一七二・〇〇】ニュース
【一七二・一〇】ニュース
【一七二・二〇】ニュース
【一七二・三〇】ニュース
【一七二・四〇】ニュース
【一七二・五〇】ニュース
【一七三・〇〇】ニュース
【一七三・一〇】ニュース
【一七三・二〇】ニュース
【一七三・三〇】ニュース
【一七三・四〇】ニュース
【一七三・五〇】ニュース
【一七四・〇〇】ニュース
【一七四・一〇】ニュース
【一七四・二〇】ニュース
【一七四・三〇】ニュース
【一七四・四〇】ニュース
【一七四・五〇】ニュース
【一七五・〇〇】ニュース
【一七五・一〇】ニュース
【一七五・二〇】ニュース
【一七五・三〇】ニュース
【一七五・四〇】ニュース
【一七五・五〇】ニュース
【一七六・〇〇】ニュース
【一七六・一〇】ニュース
【一七六・二〇】ニュース
【一七六・三〇】ニュース
【一七六・四〇】ニュース
【一七六・五〇】ニュース
【一七七・〇〇】ニュース
【一七七・一〇】ニュース
【一七七・二〇】ニュース
【一七七・三〇】ニュース
【一七七・四〇】ニュース
【一七七・五〇】ニュース
【一七八・〇〇】ニュース
【一七八・一〇】ニュース
【一七八・二〇】ニュース
【一七八・三〇】ニュース
【一七八・四〇】ニュース
【一七八・五〇】ニュース
【一七九・〇〇】ニュース
【一七九・一〇】ニュース
【一七九・二〇】ニュース
【一七九・三〇】ニュース
【一七九・四〇】ニュース
【一七九・五〇】ニュース
【一八〇・〇〇】ニュース
【一八〇・一〇】ニュース
【一八〇・二〇】ニュース
【一八〇・三〇】ニュース
【一八〇・四〇】ニュース
【一八〇・五〇】ニュース
【一八一・〇〇】ニュース
【一八一・一〇】ニュース
【一八一・二〇】ニュース
【一八一・三〇】ニュース
【一八一・四〇】ニュース
【一八一・五〇】ニュース
【一八二・〇〇】ニュース
【一八二・一〇】ニュース
【一八二・二〇】ニュース
【一八二・三〇】ニュース
【一八二・四〇】ニュース
【一八二・五〇】ニュース
【一八三・〇〇】ニュース
【一八三・一〇】ニュース
【一八三・二〇】ニュース
【一八三・三〇】ニュース
【一八三・四〇】ニュース
【一八三・五〇】ニュース
【一八四・〇〇】ニュース
【一八四・一〇】ニュース
【一八四・二〇】ニュース
【一八四・三〇】ニュース
【一八四・四〇】ニュース
【一八四・五〇】ニュース
【一八五・〇〇】ニュース
【一八五・一〇】ニュース
【一八五・二〇】ニュース
【一八五・三〇】ニュース
【一八五・四〇】ニュース
【一八五・五〇】ニュース
【一八六・〇〇】ニュース
【一八六・一〇】ニュース
【一八六・二〇】ニュース
【一八六・三〇】ニュース
【一八六・四〇】ニュース
【一八六・五〇】ニュース
【一八七・〇〇】ニュース
【一八七・一〇】ニュース
【一八七・二〇】ニュース
【一八七・三〇】ニュース
【一八七・四〇】ニュース
【一八七・五〇】ニュース
【一八八・〇〇】ニュース
【一八八・一〇】ニュース
【一八八・二〇】ニュース
【一八八・三〇】ニュース
【一八八・四〇】ニュース
【一八八・五〇】ニュース
【一八九・〇〇】ニュース
【一八九・一〇】ニュース

全島一の州豫算可決
二十日間で臺南州會終る

【臺南電話】州會第一日目は午前九時三十分より開會、出缺諸議員報告（本村平兵、勝田、森田諸氏病氣缺席）後議長より二日の日程を二日に縮小せられたき旨提議通過賛成、次いで第二讀會豫算の審議に入り先ず土木費より説明を聞き

小說 平凡人の幸福

（上）

林熊生

また、こんな日もある。

「御留守でございます」

給仕が封筒を机の上に置く。差出人の名をちらっと見て、

「ちぇっ」

とつぶやく。

「これで午後の殘業がきまった」

からなると云ふことも愿くない。談笑の日課としては、なにしろこれはユニワーサルだからな。

同僚が引あげていってから彼は食堂で腹を滿たして新聞をよんでゐる。倘風機が廻してひどく蒸しい。

それから電話をかけて相手を呼び出す。

「どう？　これからつき合はない？」

相手は

「珍らしいわね。でも一時までだめなの」

「よし、そいぢや一時半。ユトリヨで」

これでよし、彼は受話機をおいても一度小切手を出して見る。

「銀行は本町だとゆっくりいって二十分。まだ少し早いが、さうだ、御文庫へよって體重でも買って」

と、あとは口笛をヤヤジュの方へ歩み寄る。

バスを降りる。

「プラタンの重水と云ふものはいいんだが」

だが、今日は大いのものがよく見えるのかも知れない。

「偉い日の、人影のない大廣場の中もいいものである。ゆんやりとした氣のクッションに身體を埋めて新聞紙をベラ〳〵めくってゐる氣分は、今日に限って支拂日の呼び出しの早いのが惜しいくらゐだ。

出かけに腹存の時計を見ると、二時半にはまだ大分間がある。

「この間見ておいた體、買れてないといいが」

ズボンのポケットの中で新しい札がカサカサと云ふ。その感觸が今日のすべての幸福の源泉だと云ふことを思ひ出しながら、彼は愈いい街中をぶらぶらと歩く。

「ただいま主人の留守でございますので」

椎化堂のおかみは玄關で頭をさげる。

出直すやうとは思はないのだ。

「ちやっ、こんとは留守でも判るやうに他をきいといて下さいな」

しかし、こんと金をもって他をきさに來ることはまた近いうちにはないだらう。彼は自分でこのことを知ってゐる。

「好いや、結局無駄でもってゐる時間が少しあいたと云ふだけの話だ」

彼はポケットの上から札をなでしく感じて見る。

ジャーベット。ロー、ビーフ。アイスウォーター。體話をアットランダムに讀みつづけてゐると、オフィス帰りのなりで彼女が隣席口から現はれる。

「あたし、御殿會の手續ならおとひの晩もう見てよ」

「これ、久しぶりに會ひたかったんだから挨拶をする」

「あらごめんなさい。何かうっといいことがあって？」

「まだそんなこと云ってゐる。お晩ってごまいますとか、殘業は愿ないませんねとか。ちっとも可愛らしいことを云ふんだ」

「だってあんた隨分黒いわよ。あたし何にしやうかしら。ちゃつとソーダが一つ。あんたはういいの？」

「あるもんか。ところでどうだい？」

「だにだ？」

「ふんとこのボス、まだ體話に出かけないかい？」

「非常時よ。まったくたまんないわ」

「ふん、そりやたのもしい」

見もつかずに飲物を吸ひこむ。

「そこと、今日は久しぶりに逢つてそれもいいんだが」

「スイートうるさしごめんよ。久しぶりだとあと三日からだが大変なのよ」

「聞いてもやっぱり聞きたいかい」

「ねえ、あんたどん底まだらんなつていないでせう。いま第二シネでセカンドランなんだけど」

「まただ。おやゴールキーにさめる」

「冒険だな。ルノワルやないのルノワルフイス。よく撮たてらつしやい。時間はいまから、ぶらぶら出掛けつて丁度よ」

「よく適してやがる」

體話のところで、

「あら、ボツクス？」

うれしさうにお尻を寄つてくる。

「ばか、大きな声を出しなさんな見つともない」

「あ、忘れるところだった。あたしちょつと散話かりてうち夕飯ことわつてくるわ。いいでしょむろん。その間濱なら」

「彼女も存外笑顔美しだ」

とは考へる。

映畫が終ると、肝を拭いてボンボンと香粉の匂ひが彼の鼻を快く擽る。

「ある顔がへつた」

と彼は食堂を物色して、

「何か望みがあるかい？」

「あるのよ。私いつべん御馳の會體がたべたいの」

「よくない趣味だ。安かないんだぜ」

「それ承知よ。ねえ、たまにはいいでせう。その代りビール一杯くらゐつきあつてあげてよ」

「感にさせる奴があるか」

酒黨が安心できる 酒の害を除く

新榮養素フラビンとは……

正月病といつて、新年、二日酔、急性胃腸カタル、心臓病等が例年正月に多いのは、主として酒の害によるものですが、最近、部合の良いこと、酒の害を除く作用が、ある種の榮養素にあることが發見されて、上戸黨には勿論、お酒の飲い方にも何よりの福音として歡迎されて居ります。

この榮養素といふのはフラビン……即ち從來ビタミンB2と彼會稱とされてゐたものの中に含まれてゐるもので、人體榮養上極めて重要な働きをもつた成分であるが、お酒とフラビンとの關係については、理研非上幸士の面白い研究があります。

同氏の實驗によると、すべての生物は約一〇%のアルコール液によつてその細胞が害されるのであつて

空襲警報二時間

聞いて見ない長時間も物かはと

第二日の訓練振り

防空壕施設その他

統監視察に張切る

基隆

防衛團視閲は九時から

台北州第二回防空訓練第二日目三十日の午後一時四十分に第三回の空襲警報發令、同時に第一回の空襲警報發令後二時間半ぶりに解除されたが、この間の長時間にわたり夜八時やや過ぎ迄の間全市は全く暗黒の街と化し、一般市民は防空壕施設の不備を痛感すると共に、この間の訓練振りに對し深き感銘を與へた。

空襲　に伴ふ警報發令の經過は既報の如く、午前十時二十分第一回の空襲警報發令、北分團區域の町バス車庫前中、東南分團區域、警備、隣組區前、西分團區域其の他各所に一時佈ガス、爆撃等の投下されある防衛團員は徒歩の者は自轉車に跨つて出動、自轉車の者は自動車に乗つて出動、市中に必死の活動を開始した。

午後七時警戒解除

新竹州防空訓練第二日

【新竹電話】新竹州第二回防空訓練第二日目の二十日は朝まだき五時半警戒警報發令と同時に市内各所に配置された警防團員は一斉に活動を開始、午後六時半警戒警報發令と同時に日没時に於ける警戒管制下に入つた。

空襲　に伴ふ警戒管制の經過は既報の如く午前十時二十分第一回の空襲警報發令と同時に市内各所に配置された警防團員は一斉に活動を開始、午後六時半警戒警報發令と同時に日没時に於ける警戒管制下に入つた。

【基隆電話】二十日朝来の訓練を通じ頗る緊張気分を漲る中に行はれた基隆は午後五時半警戒警報發令と同時に日没時に於ける警戒管制下に入つた。

空襲　に伴ふ警戒管制の經過は既報の如く午前十時二十分第一回の空襲

二つの東西對抗戰

ラグビー

日本ラグビー協會主催第十三回全日本東西對抗ラグビー試合は二十八日午後二時二十五分から花園ラグビー場で西（七）林、中西（紀）二若武利の下に關西組の先發で開始、關東組は前半四トライ、一ゴールをあげ17－0とリードしさらに後半三トライ、二ゴールを加へたに對し關西組は二ゴール、二トライを擧げたのみで結局41－13で關東が十三連勝を遂げた

關東 41(17―10)1 關西

【全關東】
（早）（明）（明）（明）（明）（早）（早）
小笠原（明）中田右（明）小岡田（早）
（明）（明）（明）（明）（明）（早）（早）
大大大大大大大出大
（慶）（慶）（慶）（慶）（慶）（慶）（慶）
原（慶）田（慶）南（慶）津（慶）GFB（慶）HB（慶）FW（慶）CKK（慶）CGF（慶）
（慶）（慶）（慶）（慶）（慶）（慶）（慶）
出出學學出出學學
（慶）（慶）（慶）（慶）（慶）（慶）（慶）
高高
（慶）（慶）
大大
（慶）（慶）
（慶）（慶）（慶）（慶）（慶）（慶）（慶）
原田（慶）（慶）（慶）（慶）（慶）（慶）（慶）
（慶）（慶）（慶）（慶）（慶）（慶）（慶）
（慶）（慶）（慶）（慶）（慶）（慶）（慶）